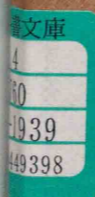
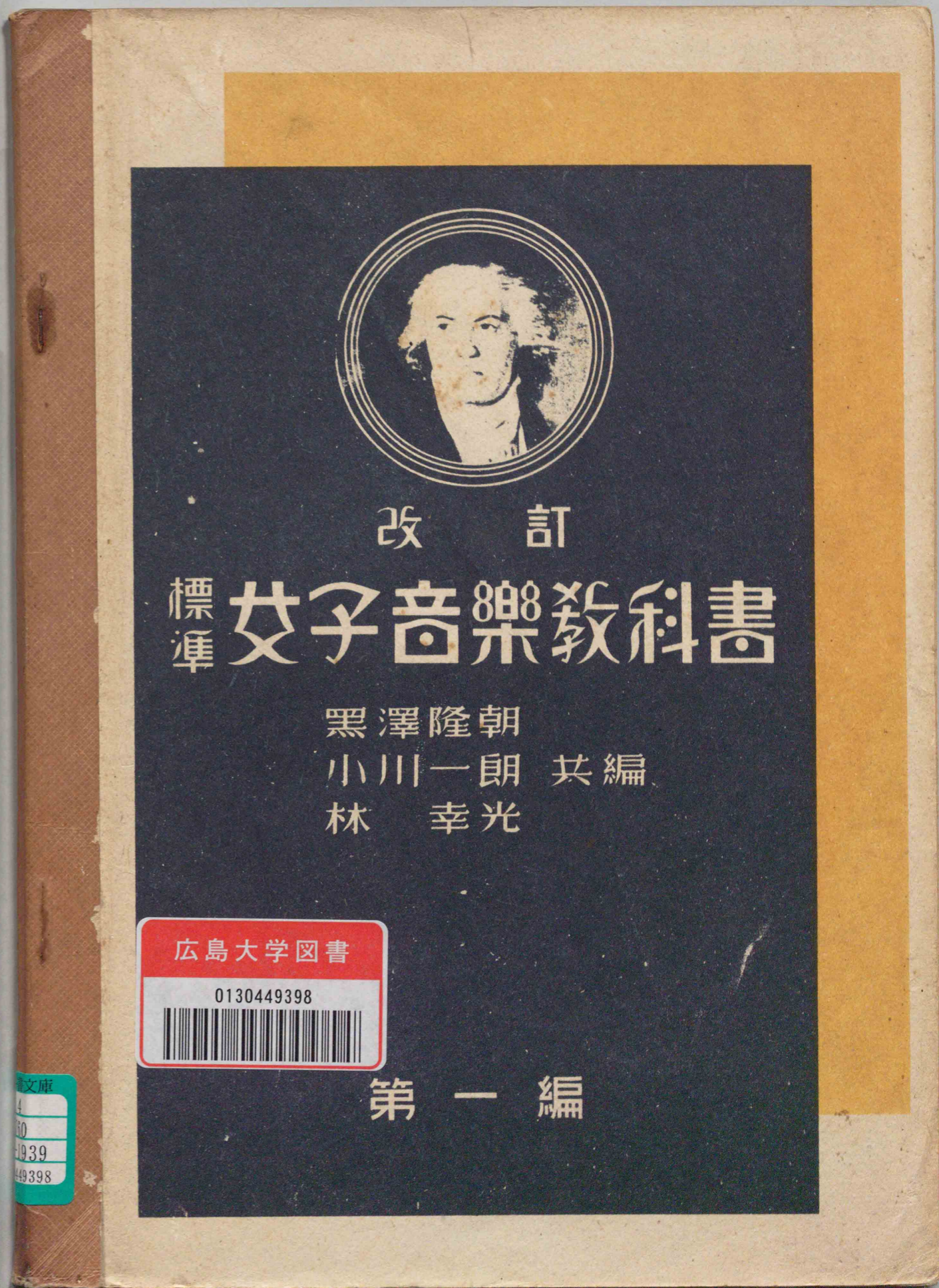
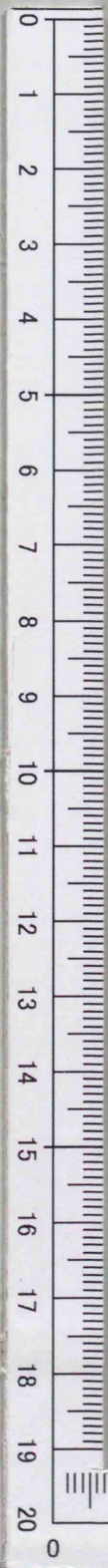
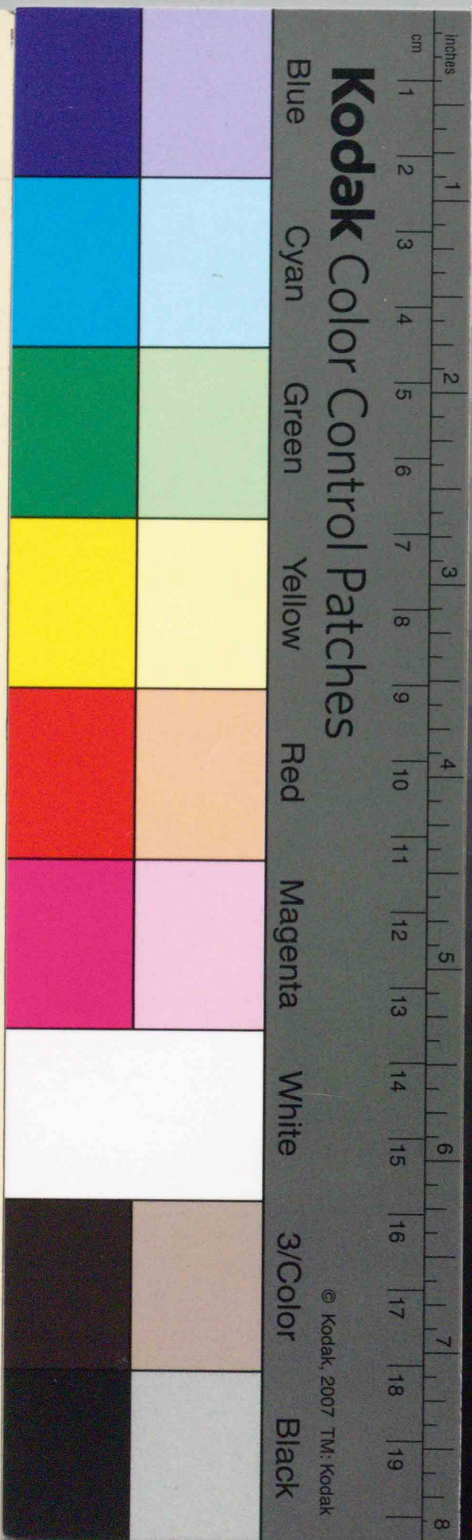


41069

教科書文庫

4
760
42-1939
01304 49398



中央図書館

教科書文庫

4

760

42-1939

0130449398

改訂標準 女子音楽教科書

第一編

黒澤隆朝
小川一朗
林幸光
共編

文部省検定済（昭和十四年三月十二日）
（師範學校・高等女學校音楽科）

広島大学図書

0130449398



広島大学図書

0130449398





モーツァルトの姉弟

明治天皇御製

正述心緒

よもの海

みなはらからと

思ふ世に

など波風の

たちさわぐらむ

よもの海

編者謹作曲

♩ = 76.
mf

よものうみみなはら

からとおもふよに

mp *mf* 少しゆるく

などなみかせのたちさわぐらむ

巻頭のことば

本書は文部省の音楽教授要目に準據して、現代の女子師範學校並に高等女學校の音楽教科書として編纂されたものである。

本教科書の特長として擧げる事の出来るのは次の諸點で、之等は行詰まれる音楽教育界に必ずや偉大なる貢獻を齎すべきことを堅く信ずるものである。

一 歌曲の形式は一々重要な任務を有ち、易より難に極めて自然に排列せられてゐる。

歌曲の排列に當つては常に樂典知識の進歩と併進せしめる事に努め、音符の形態、リズムの形式、拍子、調等のあらゆる事項について極めて綿密に考察せられ、前後よく連絡を保つてゐる。

二 歌曲にはなるだけ伴奏をつけ、生徒の音楽的陶冶に便にしてゐる。

言ふまでもなく音楽科に於ける歌曲教授は、聲樂的訓練をその目的の全部とするものでなく、常にその歌曲を中心として能ふ限り音楽的陶冶をなすにあるのである。その意味からメロディのみならず、常にハーモニーその他の音楽的條件を理解せしむる事に努力したのである。

三 歌曲の形式、及び之に含まれる音楽的要素の理解をはかる爲めには、基礎的練習、又は類似曲をあつめて之を参考曲、又は鑑賞曲として縦横自在にその徹底を期した。

練習曲は時間の都合により教授者の任意に待つものがあるが編者は最少限度と見て此等の練習曲を挿入したものである。又参考曲は正教材に準ずるもので、容易に自學し得べきものを之にあてた。

國華五章

明治天皇御製

こらは皆軍のにはにいではて、翁やひとり山田もるらむ

明治天皇御製

窓をうつ叢のおとにさめにけりいくさの場にたつとみし夢

本居宣長

敷島の大和心を人間は、朝日に匂ふ山櫻花

宏覺禪師

すゑの世のすゑの末まで我が國はよろづの國にすぐれたる國

落合直文

緋緘の鎧をつけて太刀佩きて見ばやとぞ思ふ山ざくら花

四 鑑賞曲は學習者の理解程度に應じ、聲樂器樂を通じて次第に世界的名曲に及び、國民の教養に必要と思はれる名曲は殆ど之を網羅した。

之は本書の最も力を注いだ新生面で、從來の音樂教育を唱歌教授の域から援ひたい意圖に出たものである。更に之を補ふ爲めに必要に應じ、次の二點に深甚なる考慮を拂つた。

五 曲の解説、樂器の圖解、作曲者の評傳等は勿論、音樂理解に必要な圖形寫眞を惜みなく挿入した。

六 歌詞の一字一音は常にメロディの性質によつて、極めて自然に音韻を配置した事。

之は從來殆んど顧みられざる一大缺陷であつた。此の考慮を缺く時は、如何なる名歌詞も支離滅裂の誹を免れない。

その他樂典の解説に就いては徒らに條文的の無味乾燥に流れる事を避けたこと、練習曲等には各々その學習の要點を指摘する事につとめた。

本書に収録された樂曲は、少數の編者作を除くの外は殆ど泰西の名曲で、然も日本の國民性に共鳴點の多いもののみを選び之に諸家を煩はして前述の如き歌詞を新作したものである。

終りに臨み鑑賞本位音樂陶冶主義に立脚して編纂した編者の意圖に賛同せられ、音樂教育更新の爲め、本書の使命をして意義あらしめる様希望して止まない次第である。

昭和六年盛夏

編纂者識す

改訂について

標準女子音樂教科書を世に問うて茲に六年、諸種の點に於いて改訂の必要を感じたので、全般的に大改訂を加へ、殆ど面目を一新せしめた。

勿論使用者諸彦の親切なる御建言をも率直に容れて之を考慮し、現代の音樂教育の上に萬遺漏なきを期した。

改訂にあつて特に注意したことは次の諸項である。

- 一、日本國民たるの榮ある自覺に於いて、音樂を學習すべきことを一層強調した。
- 二、教材歌曲を更に嚴選し、かつ獨唱曲その他多數の新しき歌曲を増補して一層選擇を自由にした。
- 三、隨所に〔参考〕欄を設け、自習又は適當なる指導によつて、音樂鑑賞上の必要なるべき知識を與へ、かつ寫眞・圖解等を多く加へてその理解を助けた。
- 四、附録として音階練習、又はコール・ユー・ブングンより拔萃した系統的な音程練習を加へて、學習上の便に備へた。
- 五、本教科書五編の全卷は、一貫したる音樂鑑賞讀本であり、世界名曲總目錄であり、かつ愛誦曲集であり、卒業後も音樂常識の好侶伴たるべき便に備へて、卷末に索引・總目次を示した。

昭和十三年九月二十日

編纂者再識

改訂標準女子音楽教科書第一編

目次

口 繪 モーツァルトの姉弟(原色版).....	巻頭
御製よもの海 (編者謹作曲).....	巻頭
國華五章.....	巻頭
音楽の學習.....	巻頭
君が代 (林 廣守).....	1
國歌「君が代」の制定.....	1
(小傳) 林 廣守.....	1
一 樂譜の見方.....	2
(一) 樂 譜.....	2
(二) 樂 譜 法.....	2
(三) 音の高低の表はし方.....	2
(四) 音 名.....	3
(五) 音部記號.....	3
(六) 音の長短の表はし方.....	4
【参考】一 樂譜の發達	5
(七) 長音階.....	6
【参考】二 ドレミの話	7
(八) 拍 子.....	8
二 ハ長調の練習.....	9
春 霞 (J. Hatton).....	10
[參考曲] 春 の 曙(Wesley).....	11
[鑑賞] 郭 公(オーストリア民謡).....	11

な み 風 (小學唱歌集).....	12
[參考曲] あけぼの(Bortniansky).....	13
[鑑賞] 春のほゝゑみ(Depret).....	14
[參考曲] A B C (Mozart).....	14
【参考】三 打樂器(その一) 太鼓	15
[參考曲] 五月の野邊(Helston).....	16
麥打ちの歌 (ドイツ民謡).....	17
【参考】四 ハ イ ド ン	18
[鑑賞] 「驚愕交響曲」より(Haydn).....	19
[鑑賞] 「玩具交響曲」より(「).....	19
[鑑賞] ドイツ國歌(「).....	19
日 章 旗 (Schwarz).....	20
[參考曲] 故郷さらば(ドイツ民謡).....	21
(小傳) ケルツク	21
[鑑賞] 歌劇「オルフェオ」のアンダンテ(Gluck).....	21
三 長音階と鍵盤.....	22
四 ト長調の練習.....	23
[參考曲] 英國國歌(H. Carey).....	24
[鑑賞] ワルツ調(ドイツ曲).....	24
追 憶 (アメリカ曲).....	25
愛國の歌 (F. Giardini).....	26
五 へ長調の練習.....	27
舊都の月 (Will. S. Hays).....	28
遠 足 (ドイツ民謡).....	30
[鑑賞] マドリガル(A. Simonetti).....	31

藪のかつこう (Ernst Schmid)	32
【参考】五打楽器 (その二)	34
六 八分音符を一拍こする拍子	35
舟遊 (T. S. Hamilton)	36
故郷の追憶 (T. H. Bayly)	38
〔鑑賞〕 故郷の夢 (アメリカ曲)	39
【参考】六 オルガンの發達 (一)(二)	40
七 ニ長調の練習	42
〔鑑賞〕 歌劇「魔弾の射手」序曲より (Weber)	42
〔鑑賞〕 歌劇「魔弾の射手」よりの歌調 (＼)	42
八 八分の六拍子の練習	43
モーツァルトの子守歌 (W. A. Mozart)	44
〔鑑賞〕 もう飛ぶまいぞ可愛い蝶々 (Mozart)	46
須磨の秋 (W. A. Mozart)	46
【参考】七 モーツァルト	48
九 輪唱	49
二部輪唱の練習	49
〔参考曲〕 福壽草 (ドイツ曲)	49
三部輪唱の練習「時計の歌」	50
朝霧 (Spenger)	50
〔参考曲〕 野寺の鐘 (イギリス曲)	51
十 二部合唱の練習	51
霜の朝 (Wilhelm)	52
〔参考曲〕 冬の旅 (Cook)	53
【参考】八 ピアノの發達 (一)(二)	54

雪戦 (ドイツ民謡)	56
十一 變ロ調の練習	57
さらばハワイ (Queen Liliuokalani)	58
〔鑑賞〕 ハワイの舟歌 (ハワイ民謡)	60
〔参考曲〕 ヴォルガの舟歌 (ヴォルガ地方民謡)	61
〔鑑賞〕 母なる河ヴォルガ (＼)	61
舞扇 (作曲者不詳)	62
〔鑑賞〕 王の行進 (フランス民謡)	63
【参考】九 絃樂器の發達 (一)(二)	64
護れ空を (黒澤隆朝)	66
〔参考曲〕 飛行機 (ドイツ民謡)	67
早春 (ドイツ民謡)	68
十二 變ホ長調の練習	70
〔鑑賞〕 歌劇「ローエングリン」中の結婚行進曲より (Wagner)	70
〔鑑賞〕 歌劇「ルチア」中の祝婚行進曲より (Donizetti)	70
〔鑑賞〕 歌劇「トロヴァトーレ」中の兵士の合唱より (Verdi)	70
〔鑑賞〕 名残の薔薇 (Thomas Moore)	71
山村の春 (作曲者不詳)	72
〔参考曲〕 花月 (小學唱歌集)	73
【参考】十 絃樂器の發達 (三)(四)	74
鶯のうた (J. Hullah)	76
【附録】一 發聲・音階練習	78
【附録】二 音程練習 (コール・ユーブンゲン抜萃)	79

音楽の學習

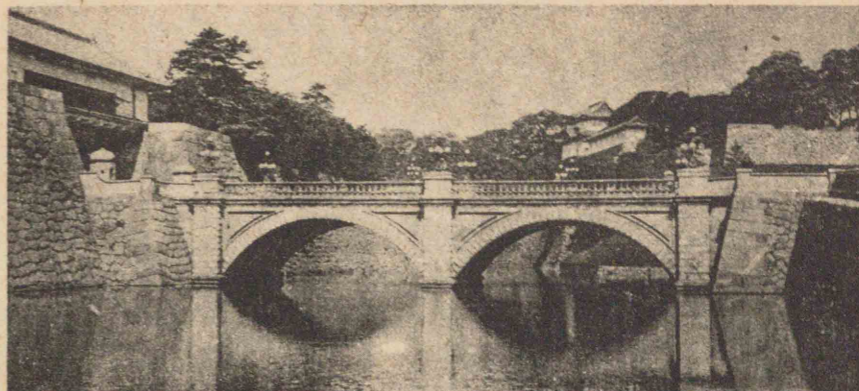
音楽……音楽とは、音の種々の組合せによつて生ずる美を味はふものである。人は常に美を愛する生活を求めて居る。それ故に自然に存在するものだけで満足せず、目に繪畫・彫刻・建築の様な藝術を作り、耳に音楽を作つたのである。此の様な、人類がそれぞれ満足する美の極致を求める活動を藝術といふのである。

音楽の三方面……音楽といふ藝術は此のやうにして作られるのであるが、自然には存在してゐないので、之を作る(作曲)こと、作られたものを表現(演奏)すること、之を聴き味はふ(鑑賞)こととの三方面に分けて考へることが出来る。之は映畫・演劇にも言ひ得ることである。

藝術音楽と自然の音楽……人が作つて味はふ音楽の他に、吾々は自然の美しい音を楽しんでゐる。小鳥の囀り、河鹿の音、蟲の聲、さては生なき松風、波の響、之等はその折々に人の心を慰めてくれるものである。之等は廣い意味の音楽で、人の作つた藝術音楽と區別するために自然の音楽とよんでゐる。

音楽の趣味……昔から音楽は心を静かにし、高雅にするもの、第一として選ばれて來た。即ち良い音楽を静かに聴く時は、雜念慾念を去つて人間のうるはしい本然性にかへる事が出来、勇壯な音楽を聞いては身命を捧げて、奮闘を誓ふ忠烈なる國民となつた數の例もあるのである。此様に音楽によつて人の心は變るのであるから、われわれは良い音楽を好むやうな趣味を養ひ、これに依つて日本女性としての美しい心情を養ふことに務めねばならぬ。

音楽の學習……専門的な作曲・演奏は天分ある人が、更に永い間の訓練を経て初めて能くするものであるが、ある程度のことは何人にもできるもので、且つその聴き方に至つては、誰にでもできるものである。而して音楽趣味の向上は、ひとへに音楽を理解するに必要な種々の知識や技能を學習して行く他はないのである。



二重橋

国歌「君が代」

林廣守作曲

♩ = 69.

キミガ— ヨ—ハ チヨニ— ヤチヨニ サザレ イシノ

イハホト ナリテ コケノ ム—ス— マ——デ

	巖	さ		君	君
	と	ゝ		が	が
	なり	れ	ち	代	代
	て	い	よ	は	古
む	こ	や	に		歌
す	け	ち			
ま	の	よ			
で		の			



林 廣 守

「君が代」の制定……国歌「君が代」は明治十三年海軍省の建議により、古歌に宮内省の樂人林廣守をして作曲せしめたもので、同年の十一月三日(天長節)初めて宮中御宴の奏樂に奉奏され、同二十六年八月祝祭日儀式用唱歌として撰定せられたものである。

林廣守は天保二年大阪に生れ、幼少の頃から笙、琵琶をよくし、宮内省雅樂部にその職を奉じ、晩年雅樂部長の榮職に昇つた、明治二十六年職を辭し同二十九年六十六歳で病歿した。

一 楽譜の見方

〔一〕 楽 譜

楽譜……音楽を種々の記号や言葉によつて書き表したものを楽譜といふ。之によつて音楽を作り、保存し、普及させる事ができる。之等の記号・標語を以て音楽やその演奏法等を示す方法を楽譜法又は記譜法といひ、其約束を決めたものを楽典といふ。

〔二〕 楽 譜 法

楽譜法……音楽の基礎となるものは音の高低と長短との組合せであつて、之に速度・強弱・音色の配合等を考へて音楽を組立てるのである。楽譜法は之等のものを記号や標語で、完全に記録しようとするものである。

〔三〕 音の高低の表はし方

譜表……音の高低を表はすには五本の並行した横線を用ひ、その線と、それに挟まれた間とを使つて音を記載する。此の線を五線又は譜表といふ。

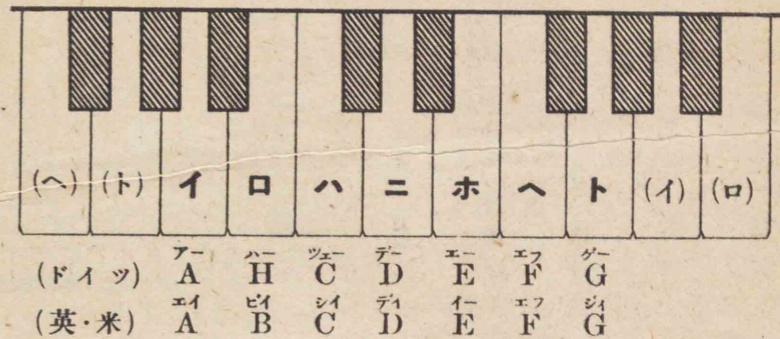


加線……五本の線だけで間に合はなない時には、臨時に上又は下に短い線を補つて之を記載する。之の短い線を加線とよぶ。

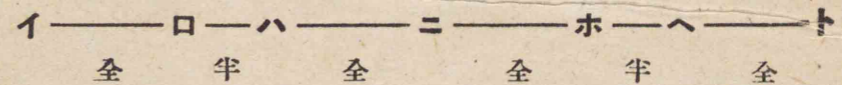


〔四〕 音 名

音名……音楽につかはれる音は多数あるが、その中から高さの程度を異にする七音を選び、之に低音からそれぞれイ・ロ・ハ・ニ・ホ・ヘ・トと名づけて之を音名とよぶ。



音程……二つの音の間の高さの関係を音程といふ。音名の隣合つてある二音間の音程には二種あつて、一はイ—ロのやうな広い幅で全音程(全音)といひ、一はロ—ハのやうな前者の二分の一の狭い幅で半音程(半音)といふ。



〔五〕 音 部 記 号

音部記号……譜表の上に音名を決めるには音部記号を用ひる。音部記号には数種あるが、普通の唱歌等の記載には、高音部記号を用ひる。之は第二線をト音とするものでト音記号ともいふ。之によつて他の音の位置が決められる。



〔六〕 音の長短の表はし方

音符……音の長短を表はすには種々の形の音符を用ひる。

全 符	二 分 符	四 分 符	八 分 符	十 六 分 符	三 十 二 分 符
(四拍)	(二拍)	(一拍)	(半拍)	(四分拍)	(八分拍)

休符……音の休む間を表す記號を休符とよび、その名稱、長さ等は音符に準ずる。

全休符	二分休符	四分休符	八分休符	十六分休符	三十二分休符
○に相當	∟に相當	∟に相當	∟に相當	∟に相當	∟に相當

附點音符……音符の右に小點の附けられた音符を附點音符といふ。點はその音符の長さの二分の一を増すことを意味する。

○・	附點全音符		= 六拍
∟・	附點二分音符		= 三拍
∟・	附點四分音符		= 一拍半
∟・	附點八分音符		= 四分の三拍

附點休符……附點休符も附點音符に準じて作られる。

〔参考〕一

樂譜の發達

十一世紀頃の樂譜

音を記號で書く方法は、八九世紀頃ネウマを以つて、先づ旋律の動きを示すことから始められた。しかし音の高さが不明であることから、線を以つてある基本となる音を示すことが工夫せられた。十一世紀頃には四線の譜表が作られ、線と間とが用ひられる様になつた。音の高低はこれでかなり嚴重に表はされるに至つたが、ネウマでは音の長さが不正確であつた。この不便を除くため、ネウマを改良して音符とし、その形によつて長さを表はすことが工夫された。これは長さをも示す樂譜だといふ意味で、**有量樂譜**とよばれた。この音符は角形のもので十五六世紀まで盛んに行はれ、次いで四線が五線となり、角音符は丸音符に變つて今日の樂譜となつたのである。

グイドーのネウマ譜 (eは緑、fは赤の線を用ひた)

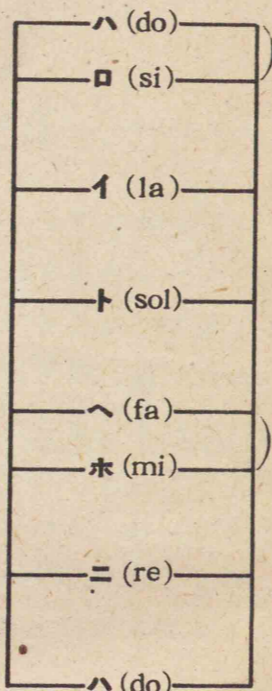
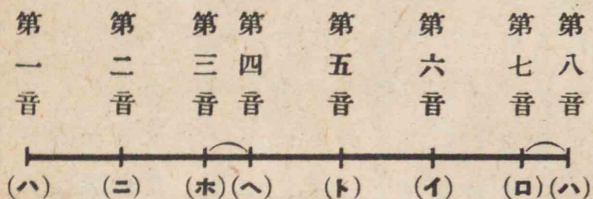
十二世紀頃スペインの樂譜

十六世紀頃ドイツの樂譜

十七世紀頃イタリーの樂譜

〔七〕 長音階

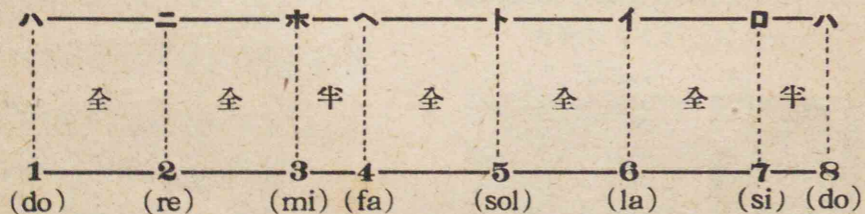
長音階……長音階とは第三・四音と第七・八音の間に半音程をもつ音階(全音階)である。ハから八音上のハまでの音の列は長音階と稱する音階と、全音・半音の位置が全く一致する。



階名……長音階では便宜上第一音をド(do)とし、順次レ(re)、ミ(mi)、ファ(fa)、ソ(sol)、ラ(la)、シ(si)をあて、之を階名とよんでゐる。これは半音の位置を注意させるため、グイドー(十一世紀、ローマ)の發明したものである。

主音……長音階の第一音(do)はその音階を作る主要な音であるから、特に主音(トニック)とよんでゐる。

ハ調長音階……ハ音を第一音、すなはち主音(do)とする長音階をハ調長音階と云ひ、長音階の模範となるものである。



ハ長調とその調號……ハ調長音階による樂曲をハ長調の曲と云ひ、ト音記號のみの譜表を以てこれを表はす。

【参考】ニ

ドレミの話

譜を読む方法に階名唱法といつて、ド(do)、レ(re)、ミ(mi)、ファ(fa)、ソ(sol)、ラ(la)、シ(si)を用ひ、長音階の第一音をいつでもド(do)として音程を考へる方法がある。この場合このドレミを階名とよぶ。これは昔イタリアの僧グイドー(Guido d'Arezzo 995—1050)が、「ヨハネスの讃歌」の歌ひ出しの句が、音階(當時の六音々階)になつてゐる事に氣付き、その發音をそのまま、音の名としたに始まるものである。

これによつて當時の生徒は半音と全音の區別がよく解るやうになつたとグイドーが述べてゐる。後に七音々階が行はれる様になつてシ(si)が加へられ、ウト(ut)が、ド(do)に替へられて今日に及んだ。今日でもイタリア、フランスでは之を音名に用ひてゐる。音階の主音(トニカ)をドとして讀譜する方法をトニカド(tonica do)とも呼んでゐる。



グイドーの像 (イタリア・フロレンス博物館)

聖ヨハネスの讃歌

Ut que - ant la - xis Re - so - na - re fi - bris
 Mi - ra ges - to - rum Fa - mu - li tu - o - rum
 Sol - - ve pol - lu - ti La - bi - i. re - a - tum Sarc - te Jo - han - nes.

〔八〕 拍 子

拍子…… 楽曲は常に一定の強弱を反復するもので、之を拍子といふ。そしてその強い部分を強聲部(アクセント)といふ。

拍子記號…… 拍子を表すには曲首に拍子記號を記載する。今假りに四分音符を一拍として、各種の拍子を示せば次の通りで、それぞれ四分の二拍子・四分の三拍子等とよび、曲の初めに $\frac{2}{4}$, $\frac{3}{4}$, $\frac{4}{4}$, $\frac{6}{4}$ の如く記入する。

Four musical examples showing different time signatures and dynamic markings:

- Example 1: $\frac{2}{4}$ time signature. Notes: quarter, quarter, quarter, quarter. Dynamics: 強弱 (strong-weak), 強弱 (strong-weak), 強弱 (strong-weak).
- Example 2: $\frac{3}{4}$ time signature. Notes: quarter, quarter, quarter, quarter, quarter, quarter. Dynamics: 強弱弱 (strong-weak-weak), 強弱弱 (strong-weak-weak), 強弱弱 (strong-weak-weak).
- Example 3: $\frac{4}{4}$ time signature. Notes: quarter, quarter, quarter, quarter, quarter, quarter, quarter, quarter. Dynamics: 強弱 (strong-weak), 中強弱 (medium strong-weak), 中強弱 (medium strong-weak), 強弱 (strong-weak).
- Example 4: $\frac{6}{4}$ time signature. Notes: quarter, quarter, quarter, quarter, quarter, quarter, quarter, quarter, quarter, quarter. Dynamics: 強弱弱 (strong-weak-weak), 中強弱 (medium strong-weak), 中強弱 (medium strong-weak), 強弱弱 (strong-weak-weak).

縦線…… 強聲部の位置を明かにする爲め、譜表上に縦線とよぶ短線を引いて拍子の単位を示す。此の區分されたものを小節と呼び、第一拍は常に強聲である。又楽曲の主要な段落・終結には二本の縦線を引いて此を複縦線とよぶ。従つて一本の場合を單縦線とよぶのである。

拍子のとり方…… 指揮棒で拍子をとるには次の様な方法を用ひる。

Four diagrams illustrating baton techniques for different time signatures:

- 二拍子 (2 beats): Shows a baton moving from a starting point to the right and then back to the left.
- 三拍子 (3 beats): Shows a baton moving from a starting point to the right, then back to the left, and then back to the right.
- 四拍子 (4 beats): Shows a baton moving from a starting point to the right, then back to the left, then back to the right, and finally back to the left.
- 六拍子 (6 beats): Shows a baton moving from a starting point to the right, then back to the left, then back to the right, then back to the left, then back to the right, and finally back to the left.

二. ハ長調の練習

Diagram of a piano keyboard showing the C major scale (do-re-mi-fa-sol-la-si-do) and corresponding chords:

- Chord I (C major): C-E-G
- Chord V (G major): G-B-D

Text: 主音の上の和音 属音の上の和音

Text: 属音とは音階の第五音で、主音について重要なる音である。


Five musical exercises for C major scale and rhythm:

- * ハ長調の音階 * 全音と半音 (C major scale, whole and half notes)
- * ハ長調階名の見方練習 * 音名では (C major scale, exercise for reading scale names)
- * 二拍子のアクセント * 二度音程 (2-beat accent, 2nd interval)
- * 四拍子のアクセント (4-beat accent)
- * 四拍子のアクセント (4-beat accent)

春霞

J. Hatton.

♩ = 100.



~~~~~  
 (クレシェンド).....次第に強くする。  
 (デクレシェンド).....次第に弱くする。  
 ~~~~~

春霞

植村甫

一 霞こむる 遠山
 眼路にこそ 見えね
 峰の櫻の 咲きぬらん
 花の香ぞ 吹き来る

二 霞にほふ 春野を
 見捨て行く雁ぞ
 花のさかりの なき里に
 住みなれし ともがら

〔註〕

霞たつ春の山べは遠けれど
 吹きくる風は花の香ぞする
 (在原元方)
 春霞立つを見捨て、ゆく雁は
 花なき里にすみやならへる
 (伊勢)

[参考曲]

春の曙

植村甫作歌
S. Wesley. 曲

♩ = 100.



* 三拍子のアクセント * 四分休符

Ritter.



[鑑賞]
郭公

オーストリア 民謡



なみ風

小學唱歌集

♩ = 132.

一、ナ ミ カ ー ゼ サ カ マ ク ア ヲ ウ ナ
 二、と ら さ ー へ う そ ぶ く あ ら や ま

バ ラ ニ ヤ ミ チ ー ヲ タ ド レ ル
 な か に や み ぢ ー に ま よ へ る

フ ナ ビ ト ア ハ レ ヤ ミ チ ヲ
 た び び と あ は れ や み ぢ に

タ ド レ ル フ ナ ビ ト ア ハ レ
 ま よ へ る た び び と あ は れ

イ ノ チ ト タ ー ノ ム ハ サ ヲ カ チ
 い の ち と た の む は と も し ぢ

ナ レ ヤ サ ヲ カ ー チ ナ レ ヤ
 な れ や と も し ー び な れ や

- ♭ …… フラット (變記號) …… 半音低く。
- ♯ …… シャープ (嬰記號) …… 半音高く。
- ♮ …… ナチュラル (本位記號) …… 元にかへす。
- ◡ …… フェルマータ (延長記號) …… 拍子をとめる。

[参考曲]

あけぼの

桑田つねし作歌
Bortniansky. 曲

♩ = 116.

一、カ ハ セ ノ ハ テ ー シ ハ カ ス ー ミ
 二、く れ な る そ め ー な す と や ー ま

の キ エ ー サ リ ア カ ボ シ ヒ
 う り す ー ぐ も い ま こ そ あ

ト ー ツ ハ ヒ ガ ー シ ニ カ ガ ー ヨ
 さ ー け と ね ぐ ー ら の も も ー と

フ ヒ ト ヒ ノ ハ ジ ー メ ノ ー
 り と も よ び か は ー し て ー

タ フ ト キ シ ジ ー マ カ ー ナ
 か け り に か け ー り ゆ ー く

p (ピアノ)……弱く。 *f* (フォルテ)……強く。 (スラー)……滑かに。

燈 火 な れ や	命 と た の む は	暗 路 に 迷 へ る	暗 路 に 迷 へ る	二 虎 さ へ う そ ぶ く	荒 山 中 に	棹 か ち な れ や	命 と た の む は	暗 路 を た ど れ る	暗 路 を た ど れ る	波 か ぜ さ か ま く	一 な み 風
燈 火 な れ や	旅 人 あ は れ	旅 人 あ は れ	荒 山 中 に	棹 か ち な れ や	舟 人 あ は れ	舟 人 あ は れ	命 と た の む は	暗 路 を た ど れ る	暗 路 を た ど れ る	あ を う な 原 に	小 學 唱 歌 集

*四分休符 *半音程



[鑑賞]

春のほゝゑみ

Depret.

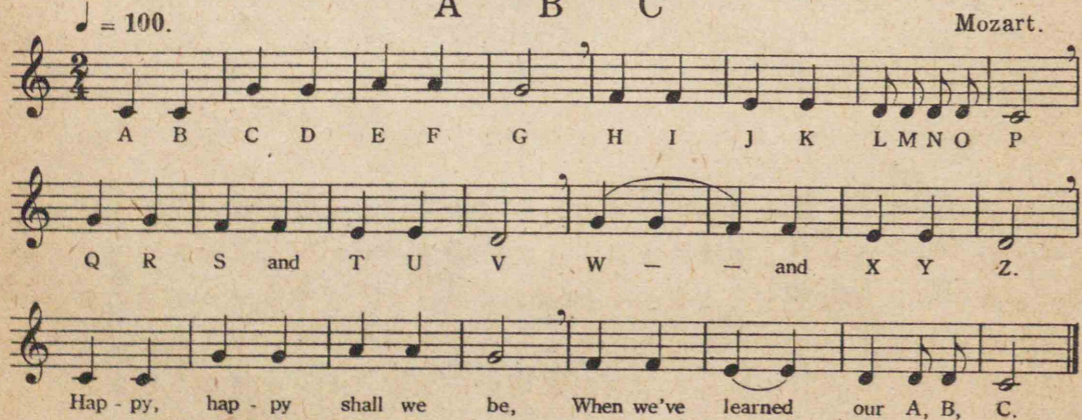


a. スラー (Slur).....二音以上の音列を滑かに奏することを示す記號。
b. タイ (Tie).....同じ高さの二音符を結合する記號。

[参考曲]

A B C

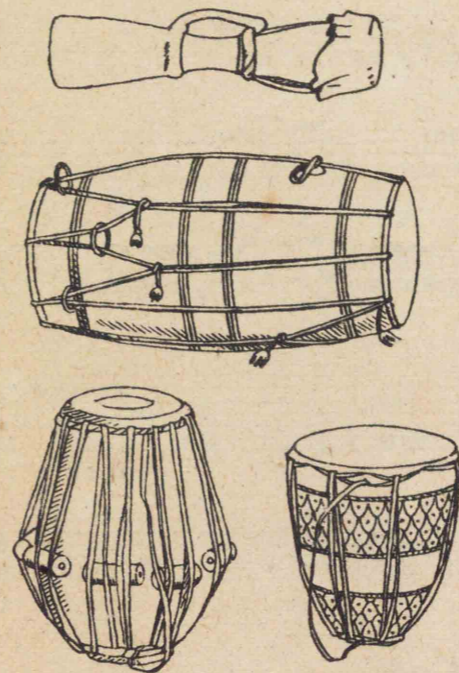
Mozart.



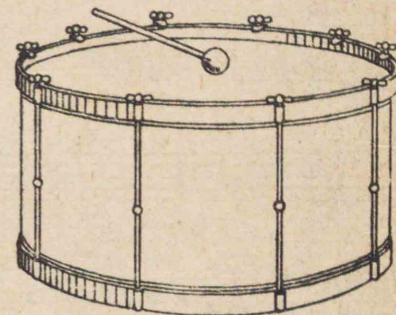
【参考】三

打 樂 器 (その一) 太 鼓

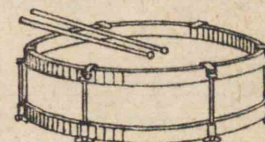
未開人種の太鼓各種



大 太 鼓

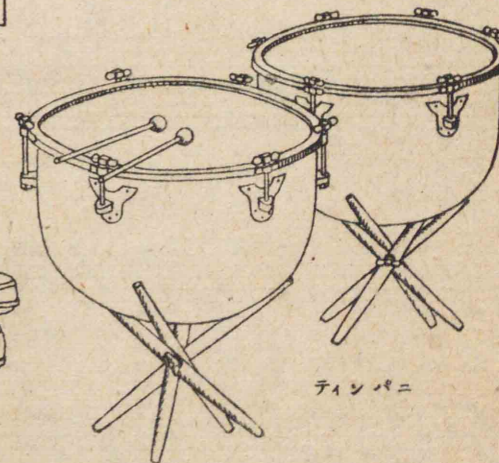
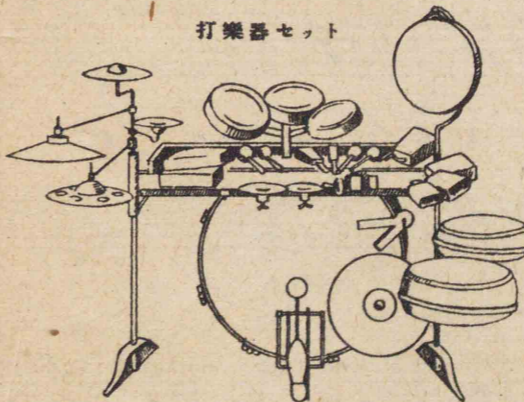


タンバリン



小太鼓

打樂器セット



ティンパニ

太鼓の音楽 太鼓は最も古い樂器の一つで、この樂器を持つてゐない民族はない。今日の未開人種も亦太鼓を主要な樂器としてゐる。太鼓が今日の形となるまでには木片を打つ事から始まり、^{クリヌキ} 削拔丸太、やがては椰子の實や、木の胴に獸皮を張る様になつた。今日合奏音樂に用ひられるものには大太鼓・小太鼓・ティンパニ等があり、舞踊音樂にはタンバリンも用ひられる。

* 八分音符のリズム練習

10. a. b. c. d.

* D.C. と Fine.

11. Fine

[参考曲] 五月の野邊

水田詩仙作歌 Helston. 曲

$\text{♩} = 108.$ mp

一 ナゴリノハナモチーリハテユーキテ
二 むらさきにほふのもせのふぢも

ヤマーベノベモターダヒトイーロニ
かはべにたるるうのはながきも

メモサエーザエトミードリアーフーレテチ
いづれかなのよそほひーなーらぬや

カラノミナーギールナーツハチカーツク
まうぐひーすーさーへけしきをそへぬ

(原調 ホ長調)

麥打ちの歌

ドイツ民謡

$\text{♩} = 112.$

mf *mp* *mf* *f* *mp* *f*

一 ムギウツウタゴエカナタコナータ
二 うちふるかひなはたぎるあせーに

コダマニカヘリテキホヘルヨハミドリニ
やけつくひかげもすずしくをのこもと

シゲルマナツノタダナカコガネトツムタカラノ
めごもおきなもおうなもこがねとしくむしろに

カガヤキイツタリミタリノムレヤ
いそしむむぎうつうたごゑかなた

イクーツイロドルタスキモカガヤク
こなたこだまにかへりてかきほへる

麥打ちの歌

水田詩仙

一 麥打つ歌聲 かなたこなた
木靈にかへりて きほへる
世は縁にしげる
眞夏のたゞ中
黄金と積む 寶の輝き
五人三人の 群やいくつ
彩る樺も かじやく
打振るかひなは たぎる汗に
焼けつく日影も 涼しく
男の子も 少女子も
翁も 姫も
黄金と敷くむしろにいそしむ
麥打つ歌聲 かなたこなた
木靈にかへりて きほへる

【参考】四

ハイドン



ハイドン (F. J. Haydn 1732 - 1809) もとのオーストリアの農村ローラウには今でも粗末なハイドンの生れた家が残されてゐる。父は農家で車大工をしてゐた貧しい家に生れた。兄弟が多いので従兄の許に預けられ、楽才もあり、聲も美しかつたのでウィーンのスチーフン寺院の唱歌隊に選ばれ名聲を博した。後エステルハツィ公の後援で作曲を勉強し、公の死後英國へ迎へられ聖劇「天地創造」「四季」の二大作を発表して一躍世界的大家

として尊敬せられ、オックスフォード大學からは音楽博士の名譽を授けられた。1809年フランス軍のウィーン包圍に逢ひ、屋外に砲彈の炸裂する音を聞き、自作の「奥國々歌」を奏しながら卒倒して數日後に八十年に近い生涯を終つた。天性快活で樂天家で、然も絶大なる努力家であつた。ハイドンの遺した曲は千百曲を超え、殊に記憶しなければならぬのは「ソナタ」といふ樂曲の形式を完成したことで、それ故に今でも「ソナタの父」として尊敬されてゐる。他に交響曲、室内樂に於いてもその軌範を示した。



エステルハツィ公



スチーフン寺院



ハイドンの用ひたバリトーンとスクエアピアノ

【鑑賞】
「驚愕交響曲」より

Haydn.

12. *Andante.* *p*

後略 *p* この黒點はスタッカート奏法を示すもので短かく切る。

【鑑賞】
「玩具交響曲」より

Haydn.

13. *Allegro.* [第一樂章] *f*

Menuetto. [第二樂章] *p* *f* 後略 *f*

(カッポ) (ラッパ) *p*

Allegro. [第三樂章] *f* 後略

【鑑賞】
ドイツ國歌

Haydn.

14. *Moderato.* *p*

cresc. *mf* *decresc.*

decresc.

日章旗

mf $\text{♩} = 112.$ *mp* Schwarz.

一.ヒナ ノ コラノ モロ テニカザシ フル ハ コレゾ ヒノ マルノハタ
 二.そら は あをく すみ ゆくと ころ しろ く たてる ふじ のかみやま

mf *mp*

イソ ノ ノキニ タチ ナビクモ ハエ ア ルヒノ ミハ タ
 みね に たかく たな びきたてる はえ ある びのみは た

イザ ヤ カザ セ ヨ チカ ラ ノ ミ ハ タ
 いざ や なが め よ うる は し み は た

イザ ヤ カカ ゲ ヨ メグ ミ ノ ミ ハ タ
 いざ や まも れ よ た ふ と き み は た

mf

キミ ノ ミイツトモ ニガガヤクワ ガーヒノミ ハー タ
 くが に うみぢにさか えひらめくわ がーひのみはー た

日章旗 藤村俊

一 鄙の子等の 諸手に翳し
 磯の軒に 立ちなびくも
 榮ある日の御旗
 君の御稜威と 共に輝く

二 空は蒼く 澄みゆく所
 白く立てる 富士の神山
 嶺に高く たなびき立てる
 榮ある日の御旗

いざや ながめよ 麗し御旗
 いざや まもれよ 尊き御旗
 陸に海路に 榮えひらめく
 我が日の御旗

[参考曲] 故郷さらば

桑田つねし作歌
ドイツ民謡

$\text{♩} = 96.$ *p*

一.ソノ ニ ホ ホ エム サーユリヨーイバ ラ ノ ハ ナー ヨ
 二.には に す だーく むーしのねよもりーベの とりーよ

p

シバ シナレート ヲーカレンーチグ サノ ハ ナー ヨ
 しば しなれーと わーかれんーのきふくかぜーよ

mf

ケフ ノカドデヲ エミ テカタラン サラ バフルサト
 けふ のかどでを と も にうたはん さら ばふるさと

pp *p* *f*

サラ バフルサト サラ バフルサト フル サト サラーバ
 さら ばふるさと さら ばふるさと ふる さと さらーば



グルック (C. W. Gluck 1714 - 1787) 南ドイツのエラスバハに生れ、幼時から楽才があつたので、父の仕へるロブコウィツ侯の保護を得て歌劇の作曲に勵んだ。やがて「オルフェオ」「アルチェステ」の二つの作が發表せられるや、一躍して大家として認められた。後にパリを訪問した時、イタリーのピッチーニ崇拝者とグルック支持者との間に不和を生じて種々の不祥事が起る様になつた。此の解決のため同一脚本に作曲させてその雄を決せしめる事が提案された。その題は「アウリスのイフィゲーニ」で先づグルックの曲が演奏されるや、聴衆は敵も味方も狂喜して此を迎へた。之を見たピッチーニは業權して勝をグルックに譲つたといふ。グルックはドイツにイタリー歌劇を入れると共に、之に大改革を加へた歌劇の功勞者である。

[鑑賞]

歌劇「オルフェオ」のアンダンテ

Andante. Gluck.

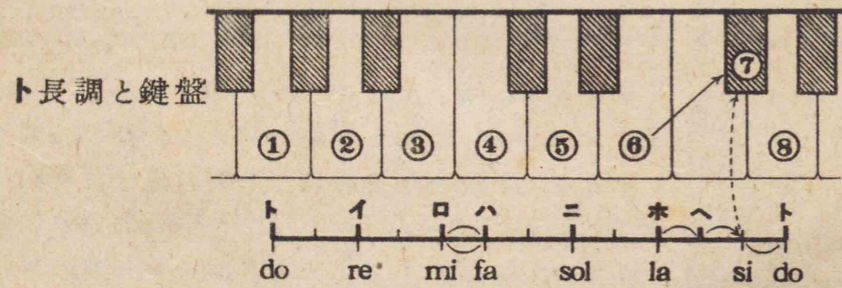
15.

後略

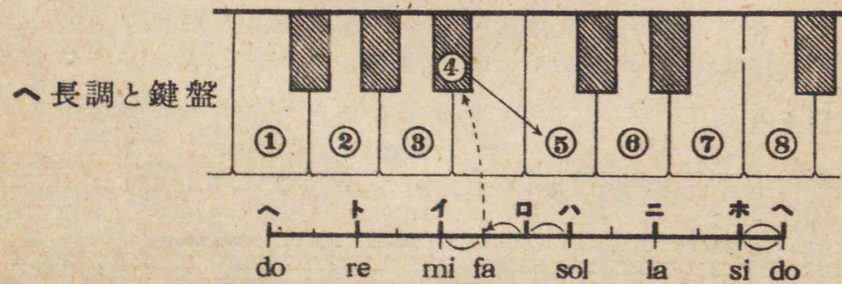
三. 長音階と鍵盤

ハ長調……之までの練習はいづれもハをドとした長音階、即ちハ調によつたものであつたが、此の他必要によつていづれの音からでも音階を構成する事が出来る。

ハ長調は先に述べた如く幸にも音列と音階との半音の位置が合一するのであるが、他の長調は自然音の儘では音階を構成する事が出来ない。例へばトをドとする時は殆ど一致するかの様に見えるがシに相當する音がない。其故此の場合にはヘ音を半音上げて嬰ヘ音を作り、之をシとするのである。但しピアノ・オルガン等の如く鍵盤を有する楽器はヘ・トの中間に設けた音、即ち黒鍵を嬰ヘに代用する。此の黒鍵は又變トにも代用せられる。白鍵は自然音を音名順に配列したものである。



ヘ長調……今假りにヘ音をドとする時は次の圖に見る如く口音がファと一致しない故、之を合はせるにはイ・口の間の中黒鍵を、口音を半音下げた變口として使ふのである。



この様に黒鍵を使用する事により、いづれの音からでも任意の長音階を作る事が出来るのである。有鍵楽器は之等の便宜から白鍵と黒鍵とを備へてゐる。

四. ト長調の練習

* 音階練習

* ♭, # のついた音の歌ひ方

♪ 練習

* リズム練習

[参考曲]
英國國歌

(GOD SAVE THE KING)

H. Carey.

Moderato.

mf

God save our gra - cious king, Long live our no - ble king,

God save the king; Send him vic - to - ri - ous, Hap - py and

glo - ri - ous, Long to reign o - ver us; God save the king.

19.

rit.

[鑑賞]
ワルツ調

ドイツ曲

Allegretto.

20.

追憶

アメリカ曲

♩ = 116.

mp

一 ち ち ハーハ ハ ラ カーラ ト モ ニ イ マーシ テ
二 い ち ごとを た づ ね し さ つ き の た に ま
三 タ ハ ム レ ア ソ ベール ヲ サ ナ ゴ ミーレ

mp

ヨ ノ サーチ ア ツ メーテ オ ク リーシ ソ ノ ヒ
あ け びーを あ さ りーし う ら やーま か げ と
ワ ガ ミーノ ム カ シーモ カ ク テーヤ ア リ シ

mf *cresc.* *rit.*

ハ ナ ト リ ツ キ ユーキ ミ ナ ワ ガ トーモ ト
は る あ き な つ ふーゆ つ ち の か しーた ひ
ヤ ヨ コ ヨ ア ソ ベーヤ コ コ ロ ノ マー マ ニ

a tempo *mf*

ヨ ロ コービ カ タ リーテ オ ク リーシ ソ ノ ヒ
た の しーみ あ そ びーし を さ なーき そ の ひ
ヲ サ ナーキ ム カ シーノ オ モ ヒーハ ユ カ シ

追憶

一 父母、兄弟共に在して
世の幸あつめて 送りしその日
花・鳥・月・雪 皆わが友と
喜びかたりて 送りしその日

二 母をたづねし 五月の谷間
木通をあさりし 裏山蔭と
春・秋・夏・冬 土の香したひ
たのしみ遊びし 幼きその日

三 戯れ遊べる 幼児見れば
わが身の昔も かくてやありし
やよ子よ遊べや 心のまゝに
稚き昔の おもひはゆかし

水田詩仙

愛國の歌

F. Giardini.

♩ = 100.

一. ホメヨ タタヘヨ アマツ ヒーツギヲ
 二. ほめよ たたへよ うまし やーまかは
 三. ホメヨ タタヘヨ ワカキ チーカラヲ

ア フ ゲ ヨ カ ミ ノ ミ コ ノ イ ヤ サ
 う た へ よ か み よ と ほ く つ ぎ つ
 ハ ゲ メ ヨ ク ガ ノ ハ テ ニ ウ ミ ノ

カ エ ニ シ ラ ス ミ ヨ ラ マ モ レ ヤ
 た へ し か み の み く に ま も れ や
 ハ テ ニ ナ ビ ク ミ ハ タ マ モ レ ヤ

愛國の歌

水田詩仙

一 讃めよ 稱へよ 天津日嗣を
 仰げよ 神の御子の いや榮えに
 しらす御代を 護れや

二 讃めよ 稱へよ うまし山川
 うたへよ 神代遠く 繼ぎつたへし
 神の御國 護れや

三 讃めよ 稱へよ 若き力を
 勵めよ 陸のはてに 海のはてに
 靡く御旗 護れや

五. へ長調の練習

主和音 属和音

I V

do re mi fa sol la si do

へ ト イ ロ ハ ニ ホ へ

主音の上の和音を主和音といひ、
 属音の上の和音を属和音といふ。

*音階練習

21.

22.

23.

移調練習

1. へ長調に

2. ト長調に

3. へ長調に

(原調 變ホ長調)

舊都の月

Will. S. Hays.

Moderato. (♩ = 88)

mp

一 ソ ビエ シ タ カド ノ イ マ イ ツ コ
 ニ に ほ ひ し み や び と い ま い づ こ

mp

p

ツ キ カ ゲ ク マ ナ ク サ エ ユ ケ ド ア キ ク サ
 つ き か げ か は ら ず て ら せ ど も あ き か ぜ

p

cresc. *mp*

シ ゲ リ テ イ シ ズ エ モ ム ナ シ ク ウ ツ モ レ
 む な し く す ぎ ゆ き て む か し を か た ら ふ

cresc. *mp*

*メロディは學習の便宜上へ長調に移調せるも實際は伴奏の示す變ホ長調にて歌ふものとす。以下メロディと伴奏の調號を異にする曲はこの方法に準ず。

p *mf*

ア ト モ ナ シ ワ ビ シ キ フ ル サ ト
 す べ も な し さ び し き ふ る さ と

p *mf*

p *mf* *rit.*

ヨ ワ ビ シ キ フ ル サ ト ヨ
 よ さ び し き ふ る さ と よ

p *mf* *rit.*

舊都の月
 近藤謙次郎

一 聳えし高樓 今いづこ
 月影隈なく 冪えゆけど
 秋草茂りて 礎も
 空しく埋もれ 跡もなし
 詫しき 舊都よ
 詫しき 舊都よ

二 匂ひし宮人 今いづこ
 月影かはらず 照らせども
 秋風空しく 過ぎゆきて
 舊時を語らふ 術もなし
 寂しき舊都よ
 寂しき舊都よ

遠 足

Allegretto. (♩ = 108)

ドイツ民謡

mp *mf*

一、サ ギリワタル ム ラノアタリ カ ナタニコ
 二、そ らはあをく やまはたかく あをばをふ
 三、ア ソビツカレ ウタヒツカレ ココロユク

mf

ナタニトリノコエ スレドシ バノトト ザシテヒ
 くかぜはだへにす ずしくせ みのねと りのねし
 バカリスゴシシケ フノヒコ コロモカ ラダモス

mf

トカゲモ ミエズキ ヨキキヲ スヒテア サヲユカ ン
 らべもお もしろみ やまのし みづをく むこち や
 ガシヤス ガシヤア カクヒニ ハユルア マタノオ モ

〔鑑賞〕 「マドリガル」より

Andantino quasi Allegretto.

A. Simonetti.

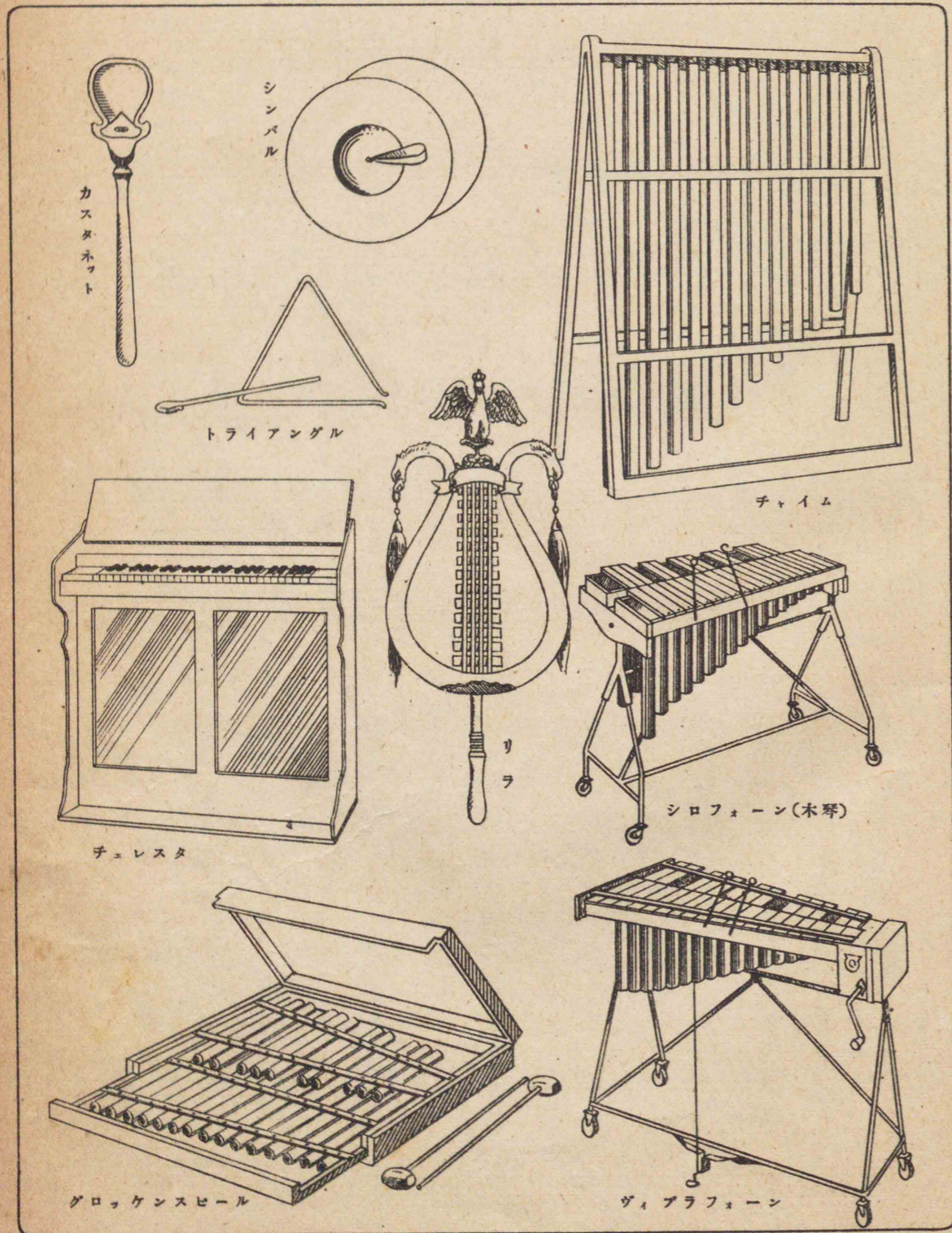
24.

後略

遠 足

桑田つねし

- 一 狭霧渡る 村のあたり
 彼方に此方に 鶏の聲すれど
 柴の戸閉して 人影も見えず
 清き氣を吸ひて 朝をゆかん
- 二 空は蒼く 山は高く
 青葉を吹く風 肌はだに涼しく
 蟬せみの音鳥の音 調しらべも面白
 深山みやまの清水を くむ心地や
- 三 遊びつかれ 歌ひつかれ
 心ゆくばかり 過し、今日の日
 心も身體も すがしやすがしや
 赤く日に映ゆる 數多の面



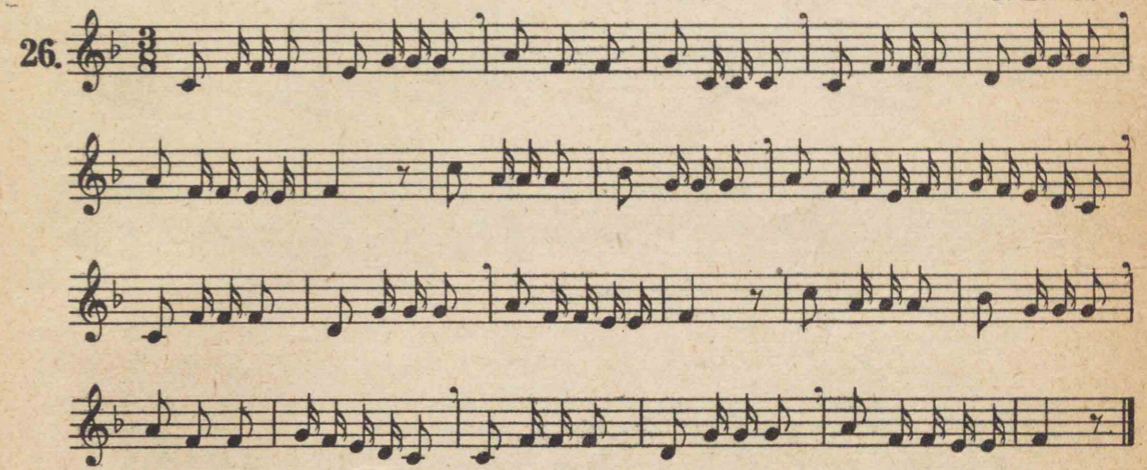
六. 八分音符を一拍とする拍子

ドイツ民謡



♪ (十六分音符) の練習

J. Kinkel.



拍子の単位……これまでの練習は四分音符を一拍として拍子を考へて來たのであるが、この他に普通、二分音符、八分音符を一拍として數へる拍子もある。

1. 二分音符を一拍とするもの。



2. 八分音符を一拍とするもの。



[例] (二分の二拍子)

(小學唱歌集)



舟 遊

Moderato. (♩ = 108)

J. S. Hamilton.

First system of musical notation for '舟遊'. It consists of a vocal line in treble clef and a piano accompaniment in bass clef. The tempo is marked 'Moderato' with a quarter note equal to 108 beats per minute. The key signature has one sharp (F#).

Second system of musical notation. The vocal line includes lyrics: 一、シツカニアクルミヅウミノセンコノサ、二、むらがるうをのかげみえていはまはし、三、イリヒニハユルウナバラヲヒカリオヒ.

Third system of musical notation. The vocal line includes lyrics: マシキニセマリロノオトヒトリコダマシテミナ、るかはせのふねさをくるかこのいそがしくしぶ、テトブハカモメキシベノムラノヒモマバラウラ.

First system of musical notation on page 37. It includes a vocal line and piano accompaniment. Dynamics include *cresc.*, *dim.*, and *fa tempo*.

Second system of musical notation on page 37. It includes a vocal line and piano accompaniment. Dynamics include *mf* and *rit.*

舟 遊

藤村 俊

一 静かに明くる湖の
 千古のさま四圍に迫り
 櫓の音ひとり木霊して
 水泡散らし舟は進む
 「漕げや漕げや變る景色
 た、へて行かん 漕げや 漕げや」

二 群がる魚の影見えて
 岩間走る川瀬の舟
 竿くる水夫の忙しく
 しぶき浴みて舟は下る
 「漕げや漕げや變る景色
 た、へて行かん 漕げや 漕げや」

三 入日にはゆる海原を
 光追ひて飛ぶは鷗
 岸邊の村の灯もまばら
 浦回近く舟はめぐる
 「漕げや漕げや變る景色
 た、へて行かん 漕げや 漕げや」

故郷の追憶

Moderato. (♩ = 92)

T. H. Bayly.

mf

一. ユキトマ ガフ シラクモ タカネヲ メグリテ マドニワ レヲ
 ニ. ゆふばえう つる な がれや さざめく そのこゑ よくとわれを
 三. フルサト ニハユ カシキ タカネノ チチアリ フルサト ニハ

ム カフル スガタナツカシ トシゴト ニ ノボリシ
 む かふる ひびきなつかし としごとに わたりし
 ヤ サシキ カハノハハアリ コノナツモ スゴシシ

dolce

オモヒデノ ウラヤマ アハレトハニヤマコソ フルサトノチチ
 おもひでの たにかは あはれとはにかはこそ ふるさとの はは
 ナツカシノ ヤマカハ イマモトホクシノブハ ヤスミノアソビ

f dolce *mp* *p*

[鑑賞] 故郷の夢

[原調 變ホ長調]

アメリカ曲

27. *mf*

故郷の追憶

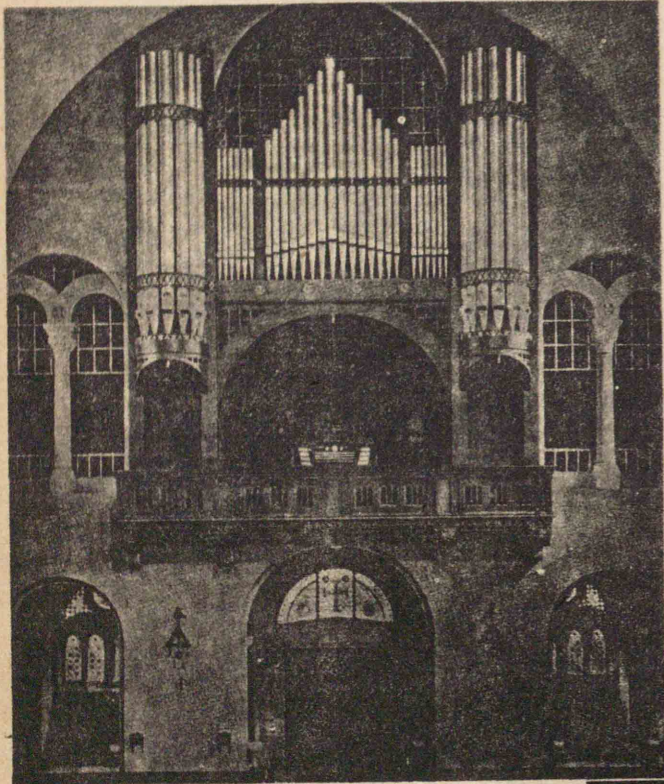
黒澤隆朝

一 雪とまがふ白雲 高嶺を廻りて
 窓にわれを迎ふる 姿なつかし
 年毎に登りし 思ひ出の裏山
 あはれ永久に山こそ 故郷の父

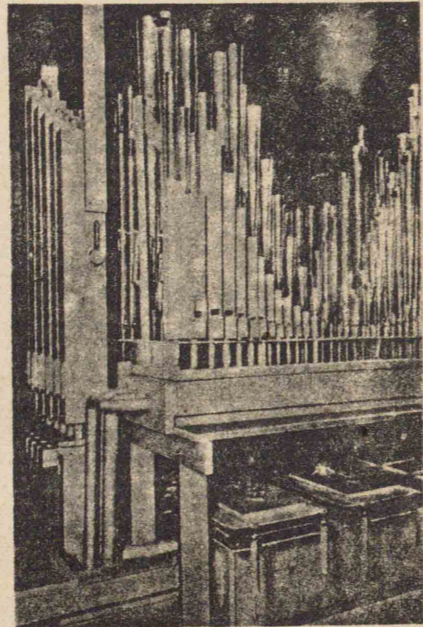
二 夕映うつる流や さざめく其の聲
 「よく」とわれを迎ふる 響なつかし
 年毎に渉りし 思ひ出の谷川
 あはれ永久に川こそ 故郷の母

三 故郷にはゆかしき 高嶺の父あり
 故郷にはやさしき 川の母あり
 此の夏も過ぎし、 なつかしの山川
 今も遠く忍ぶは 休暇の遊び

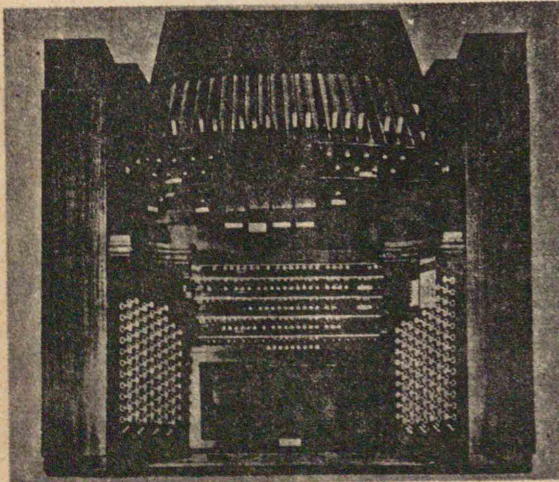
オルガンの發達 (一)



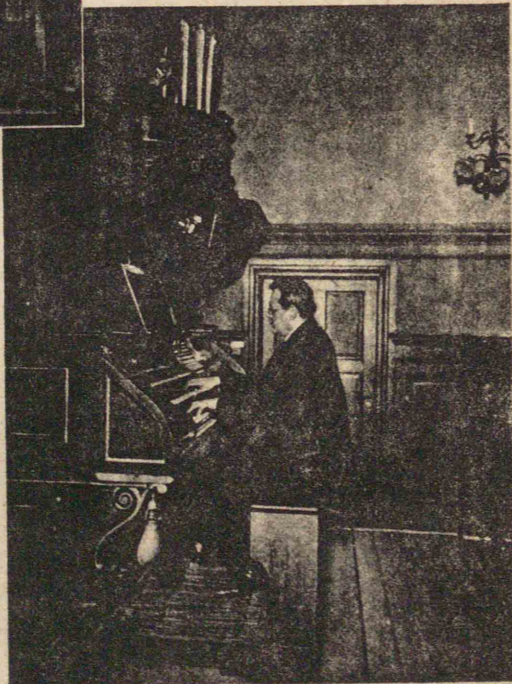
パイプオルガン



パイプオルガンの内部

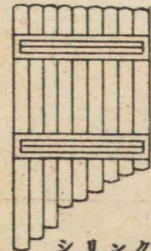


コンソール(演奏席)

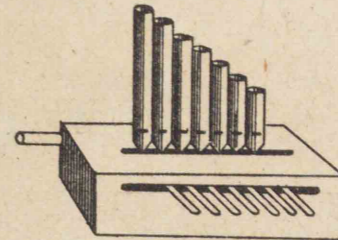


マックス・レーガーのオルガン演奏

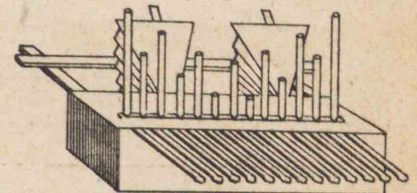
オルガンの發達 (二)



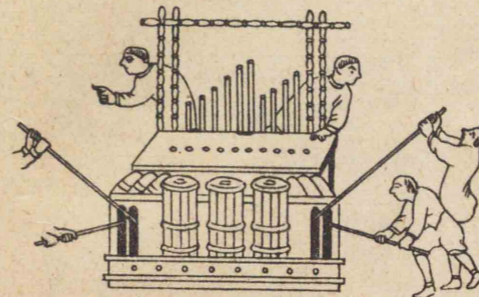
シリンクス (パンの笛)



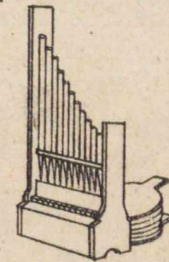
箱に装置されたシリンクス



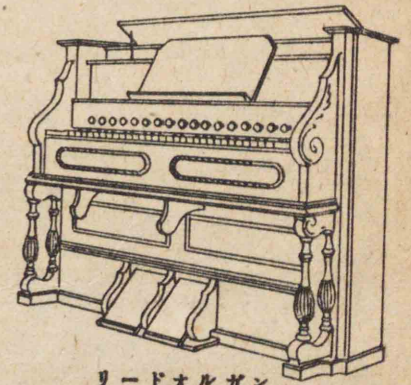
フイゴを装置して送風する



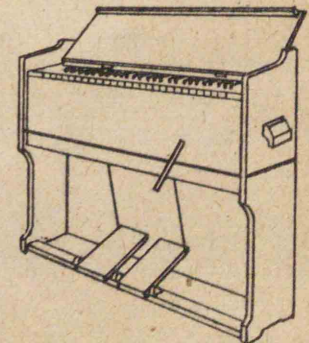
フイゴは數人の手を要するにいたる



携帯オルガン
左手にフイゴ右手に鍵



リードオルガン



リードオルガン

オルガン…古代民族は葦笛を並べてパンの笛(今日猶未開人種に用ひられてゐる)が作られた。それに箱が取りつけられ、鍵が装置され、送氣装置が施されてオルガンが出来たのである。今日のパイプオルガンは演奏席(コンソール)と笛管装置室と電氣送風室との三部からなり、演奏室には二段以上の手鍵盤(マニュアル)と一列の足鍵盤(ペダル)それに音色を調整する數十の音栓(ストップ)から出来てゐる。笛管装置室には種々の樂器の音色を模した數千のオルガン管が林立してゐる。此の音色を模して小規模に作られたものにリードオルガンがある。之は我國に於いて普通オルガンと稱ばれてゐるもので、發音體は眞鐘の簧(した, リード)を用ひ、普通演奏者自身踏板にて排氣しながら演奏するものである。

七. ニ長調の練習

*音階練習

28.

リズム練習

[鑑賞]

29. *Andantino.* *mp* 歌劇「魔弾の射手」序曲より Weber.

[鑑賞]

30. *Andante.* 歌劇「魔弾の射手」よりの歌調 Weber.

八. 八分の六拍子の練習

ドイツ子守歌

31.

32.

移調練習

1. ニ長調に

2. ハ長調に

3. ニ長調に

4. ト長調に

5. ヘ長調に

モーツァルトの子守歌

(原調へ長調)

Andante. (♩ = 120)

W. A. Mozart.

一. ネムレヨイコヨ ニハニモリベニ
 二. よはのとばりに ものはしづけく
 三. ネムレヨイコヨ サチニミチタル

テフモコトリモ ハネヲヲサメヌ ツキハマドベヲ
 なべてつつまれ まろびやすらふ おくのねずみも
 ウレヒナキノ ユメノエマヒヨ カズノオモチャモ

シロクテラシテ ユメヲマモレル ネムレヨイコヨ ネ
 ははのかひなに かへりねむれる ねむれよいこよ ね
 ナレガメザメヲ ココニマツナル ネムレヨイコヨ ネ

ム -----レ-ヤ
 む -----れ-や
 ム -----レ-ヤ

モーツァルトの子守歌
 水田詩仙

一 ねむれよい子よ
 庭に森邊に 蝶も小鳥も
 羽ををさめぬ
 月は窓邊を 白く照して
 夢を守るる

二 夜半の帳とばりに
 ねむれよい子よ ねむれや
 物は静けく なべてつつまれ
 まろびやすらふ
 奥のねずみも 母のかひなに
 かへりねむれる

三 ねむれよい子よ ねむれや
 幸さいにみちたる 憂うれなき子の
 夢の笑まひよ
 数のおもちやも 汝なれが眼ざめを
 こゝに待つなる
 ねむれよい子よ ねむれや

[鑑賞]

もう飛ぶまいぞ可愛い蝶々

(歌劇「フィガロの結婚」より)

Mozart.

Allegro vivace.

33.

〔註〕

須磨寺やふかぬ笛きく木下闇

芭蕉

<p>壽永如月の恨深く 櫛笥の片か岸に浮くは</p>	<p>二名に負ふ山々 落ちにし人の涙そむる 紅葉あかく</p>	<p>往交ふ舟の歌にまじり 吹かぬ笛きく松の木陰</p>	<p>一素波寄する須磨の浦回 淡路島山影もさやか</p>
---	---	---	---

須磨の秋

黒澤隆朝

須磨の秋

Andantino. (♩ = 132)

W. A. Mozart.

シラナミヨスールスマノウラワ アハヂシマ
 ニなにおふやまやまもみらあかく おちにしひ
 ヤマカゲモサヤカ ユキカフネノウ
 とのなみだそむる じゅえいきさらぎのう
 タニマージリ フカヌフエキクマツノコカゲ
 らみふかく くしげのひらかきしーにうーは

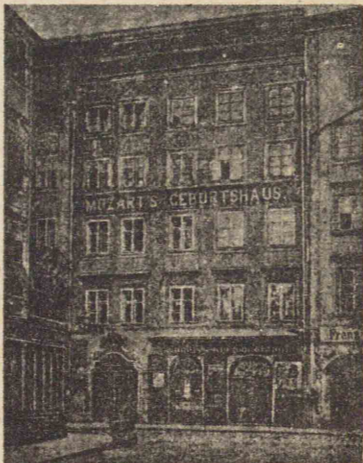
【参考】七

モーツァルト

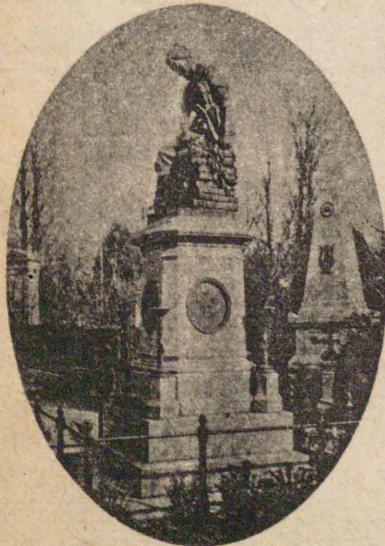


モーツァルト (W. A. Mozart 1756 - 1791) 十八世紀の頃驚く可き姉弟の幼年天才音楽家が歐洲の各都市を歴遊して子を持つ親達の美望の的となつた。姉は十一歳マリア・アンナといひ、弟は六歳ウオルフガングといつた。この弟こそ樂聖モーツァルトとして音楽史を飾る大作曲家の少年時代なのである。父はオーストリアのザルツブルグ公の樂長であつた。五歳の時練習した事のないヴァイオリンを無理に父の手から奪ひとつて、父の友人等と巧みに合奏し、猶インキ

に汚れ乍らピアノ曲を作曲したと言はれてゐる。この様な神童は、音楽界は勿論未だ嘗て歴史上その例を見ないといはれてゐる。彼は不幸短命であつたが、その作品の量から言ふならば驚くべき數に達してゐる。作品には輝しいピアノ曲、管絃樂曲等の外に「フィガロの婚禮」「魔笛」「ドン・ジョヴァンニ」等の歌劇がある。彼はドイツ歌劇の開拓者であると共に、音楽史上ではハイドンを繼承してベートーヴェンに傳へる位置にあり、これ等の三人は所を同うして活動した人々なので、ウィーンの三大家とも呼ばれてゐる。



ザルツブルグにあるモーツァルトの生家



ウィーンの郊外・中央墓地のモーツァルトの墓



モーツァルト姉弟の演奏

九輪唱

輪唱……唱歌者が二組以上に分れ、ある旋律を一小節乃至數小節遅れて次々に他の組が追ひかけて歌ふ事を輪唱といふ。輪唱はその組の數によつて二部輪唱、三部輪唱、四部輪唱等に分けられる。輪唱の曲には旋律の上に、I, II, III, IV, 等の文字を用ひる。之は先行する旋律 I の行進中、二の組、三の組、及び四の組の開始の場所を指定したものである。

二部輪唱の練習

34.

35.

【参考曲】

福壽草

水田詩仙 作歌
ドイツ 曲

♩ = 108.

I

一. シ ラ ユ キー トー ザ セー ル ミ ヤ マ ノ フー モー ト
 二. あ て に ほ こ ら ざー る つ つ ま し き ナー が た
 三. カ フ リ ヲ ト モー シ ラー ヌ ケ ナ ゲ ノ ス ガー ター ハ

II

ヒ マ モ ルー ヒー カ ゲー ニ ホ ホ エ ム フ ター ジュ サウ
 は な の さー きー が けー と げ にー も た のー も し ヤ
 ハ ル ノ コー トー プ レー ト ゲ ニー モ メ デー タ シ ヤ

三部輪唱の練習
時計の歌

♩ = 116.

36. I. おほきなとけいは チック タック

II. ちひさなとけいは チック タック チック タック

III. くわい ちゆう どけいは チクタクチクタク チクタクチ

朝霧

Allegretto. (♩ = 116)

(三部輪唱)

Spenger.

I. クヌギノモリーノヘーニ シロガネノー

II. しろきゑぎぬのうーち わきいづるー

III. トリガネモーサワヤーカ コラガウタフ

III. ヒ ハイデヌ サギリ フルアーサトデ

も のみなの す が た こ そ おー も し ろ

ウ タゴエモ サギリ ヨ リ ヒー ビ キ ヌ

朝霧

一 櫟の森の上に
白がねの日は出でぬ
狭霧ふる朝戸出

二 素き繪絹の中
湧き出づるものみな
姿こそおもしろ

三 鳥が音もさわやか
子等が歌ふ歌聲も
狭霧よりひびきぬ

水田詩仙

[参考曲]
野寺の鐘

植村市作歌
イギリス曲

♩ = 120.

I. 一. ア サ ケ ヲ ツ ゲ ク ル ノ デ ラ ノ カ ネ

二. い り あ ひ つ げ く る の で ら の か ね

三. ト ボ ソ ヲ モ レ ク ル ノ デ ラ ノ カ ネ

II. モ ノ ウ キ ヤ ヨ ヒ ノ ユ メ ヲ サ ソ フ

な が る る ひ び き は は な を ゆ す る

オ ボ ロ ニ イ ロ ド ル ツ キ ノ ヒ カ リ

III. ゴーン ゴーン ゴン ゴン ゴーン

ごーん ごーん ごん ごん ごーん

ゴーン ゴーン ゴン ゴン ゴーン

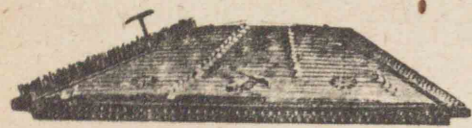
十. 二部合唱の練習

37. [Musical notation]

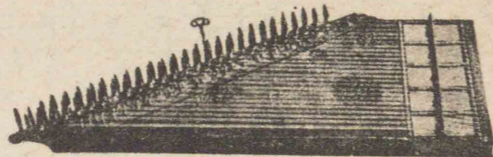
38. [Musical notation]

39. [Musical notation]

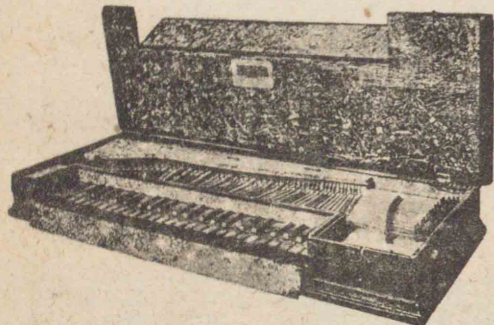
ピアノの發達 (一)



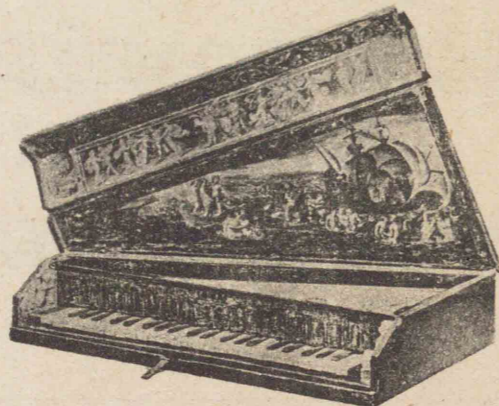
ハックブレット(又はダルシマー)



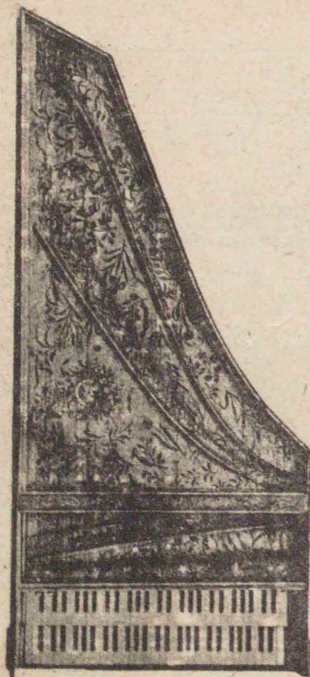
アラビヤのカヌーン



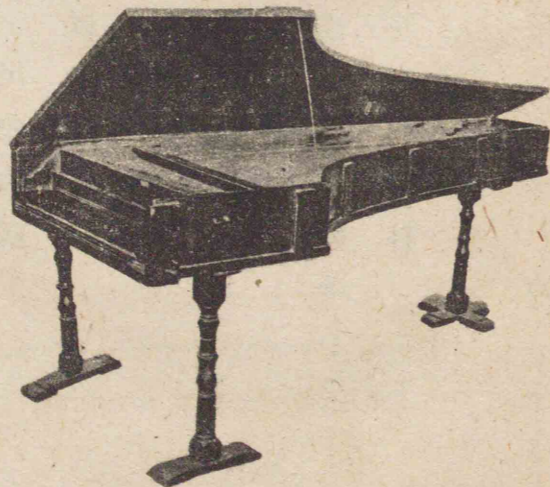
クラヴィコールド



十六世紀のスピネット

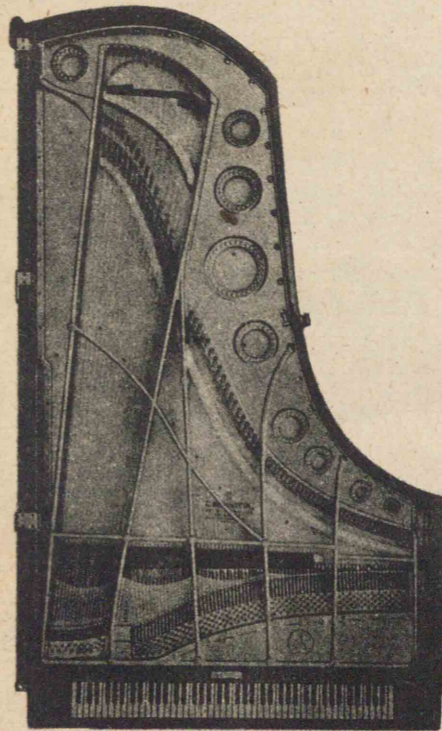


ハープシコールド
(チェンペロ又はクラヴサンともよぶ)

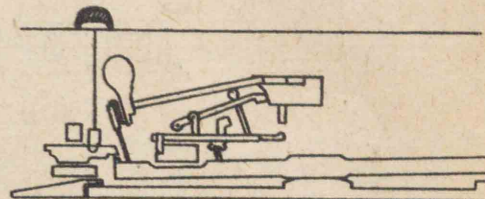


クリストフオーリの發明した最初の
(1720年)のハムマーピアノ

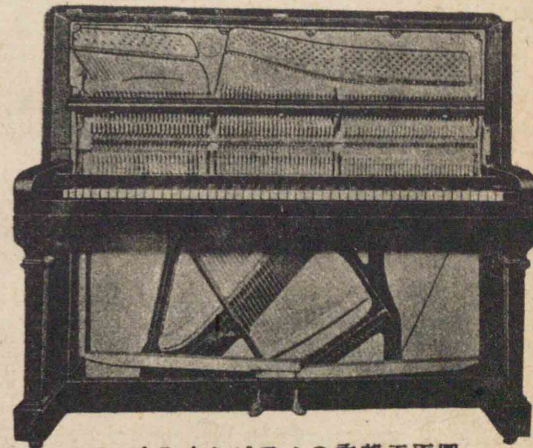
ピアノの發達 (二)



グランドピアノの内部平面圖



グランドピアノのアクション



アップライトピアノの内部正面圖

ピアノの發達……絃を横に張つて演奏する樂器に、今日でもアラビヤ、エジプト等にハックブレット、カヌーンの類がある。之等の種類にオルガン鍵盤を利用したのがピアノ發明の端緒である。

クラヴィコールドは、タンジェントと稱する金屬製の突起をもつて、下から打ち上げて發音させるものである。又羽軸の裝置で絃を弾く裝置をしたものにハープシコールドがある。これは今日の平臺ピアノの形をしてゐるもので、絃は鍵盤に向つて縦に張られる。この絃を横に張つたものをスピネットといつた。英國ではこの一種をヴァージナルとよんだ。

クラヴィコールドとハープシコールドとはピアノ出現以前の主要樂器であつた。この不備を補つて現はれたのは、イタリーのクリストフオーリ(1665—1731)によつて發明されたハムマーピアノであつた。ハムマーピアノが完成されるに従つて、ピアノ音樂が急激に進歩し、著名なピアノ曲、演奏家が競つて現はれるやうになつた。

雪 戦

Allegretto. (♩ = 112)

ドイツ民謡

一. ソラ ハ ア ヲクハレ テ ア サヒタカ ク ユ キハニハ
 二. うれ し ゆ きにつど ふ わ かきとも よ にしにひが
 三. ウテ ト キ ホフコエ ニ ウ デハナリ テ ユ キノマタ
 四. うれ し さ むきふゆ も た ぎるあせ じ お もはかが

モ ニシ ロクカガ ヤ キン コ ヨ ト ト モヲサソ フ
 し にか ちをきそ は ん た の し ゆ きのあそ び
 マ ハソ ラニトビカ ヒ た ル ヤ マ ツノミユ キ
 や きち しほたか な る た の し ゆ きのあそ び

雪 戦 平井幸

一 空は青く晴れて 旭日高く
 雪は庭面に白く輝き
 来よと友を誘ふ

二 うれし雪に集ふ 若き友よ
 西に東に勝をきそはん
 たのし雪の遊び

三 撃てと競ふ聲に腕はなりて
 雪の眞玉は空に飛び交ひ
 散るや松のみ雪

四 嬉し寒き冬も たぎる汗に
 面は輝き血潮高鳴る
 たのし雪の遊び

十一. 變口長調の練習

主和音 I
 属和音 V

do re mi fa sol la si do
 口 ハ ニ 味 ハ ト イ 口

* 音階練習

40.

* 二重音音階練習

41.

リズム練習 2/4

スコットランド民謡

42.

* 移調練習

1. 全音上げて

2. 變口長調へ

3. 一音半上げて

4. 二音半下げて

さらばハワイ

Andante. (♩ = 76)

(アロハ・オエ)

Queen Liliuokalani.
編者 編曲

First system of musical notation on page 58, featuring a piano accompaniment and a vocal line. The piano part starts with a *mf* dynamic and includes a *rit.* marking.

Second system of musical notation on page 58, including piano and vocal staves with Japanese lyrics. The piano part is marked *mp*.

一. アヲ クスミシアノソ ラ ヨ ヤ シノ ハノソノミ ド リ ハ ナ
 ニ. つ き て る は ま の あ た り に わ か き と も び と の う た ウ ク
 三. ア コ ガ レ ノ ミ ナ ミ ノ シ マ ハ ル カ ナ ル ユ メ ノ ク ニ ユ メ

Third system of musical notation on page 58, including piano and vocal staves. The piano part is marked *mp*.

Fourth system of musical notation on page 58, including piano and vocal staves with Japanese lyrics.

ト ブ コ ト リ ヨ ム シ ヨ エ ニ モ カ カ マ シ ソ ノ イ ロ -
 レ レ の し ら べ も よ し た び の こ こ ろ の た の し や -
 ノ ゴ ト ク ニ ヒ ハ サ リ ケ フ ノ ワ カ レ ズ カ ナ シ キ -

Fifth system of musical notation on page 58, including piano and vocal staves.

[合唱]

First system of musical notation on page 59, including piano and vocal staves. The piano part is marked *mf* and the vocal part is marked *p*.

一. 二. 三. ア ロ ハ オ エ ア ロ ハ オ エ ト コ ナ ツ ノ パ ラ ダ イ ス ヨ ウ

Second system of musical notation on page 59, including piano and vocal staves with Japanese lyrics. The piano part is marked *mf* and the vocal part is marked *p*.

レ シ キ オ モ ヒ デ サ ラ バ ハ ワ イ ヨ ア

Third system of musical notation on page 59, including piano and vocal staves. The piano part is marked *mf* and the vocal part is marked *p*.

ロ ハ オ エ ア ロ ハ オ エ ト コ ナ ツ ノ パ ラ ダ イ ス ヨ ウ

Fourth system of musical notation on page 59, including piano and vocal staves with Japanese lyrics. The piano part is marked *p* and includes a *rit.* marking.

レ シ キ オ モ ヒ デ サ ラ バ ハ ワ イ ヨ



ハワイの風景

[鑑賞] ハワイの舟歌

43. *Andante.*

さらばハワイ
(アロハ・オエ)
水田詩仙

一 青く澄みしあの空よ
椰子の葉のその緑
花飛ぶ小鳥よ蟲よ
繪にも描かましその色
折返「アロハ・オエ アロハ・オエ
常夏のパラダイスよ
うれしき思ひ出 さらばハワイよ

二 月照る濱のあたりに
若きともびとの歌
ウクレレのしらべもよし
旅の心のたのしや

三 あこがれの南の島
はるかなる夢の國
夢の如くに日は去り
今日の別れぞかなしき

[参考曲] ヴォルガの舟歌

桑田つねし作歌
ヴォルガ地方民謡

Moderato.

ヒークヤ ヒークヤ チカラ--ノ カーギリ ヒークヤ ヒークヤ
イノチ--ノ ツーナヲ ウゴク--ヨー フネハ スベル--ヨー フネハ
ヒケヤトモ チカラコメ ウタゴ--エ ターカク ヒークヤ ヒークヤ
チカラ--ノ カーギリ ヒークヤ ヒークヤ イノチ--ノ ツーナヲ
ウゴク--ヨー フネハ スベル--ヨー フネハ ヒケヤトモ チカラコメ
ウタゴ--エ ターカク ヒークヤ ヒークヤ チカラ--ノ カーギリ
ヒークヤ ヒークヤ

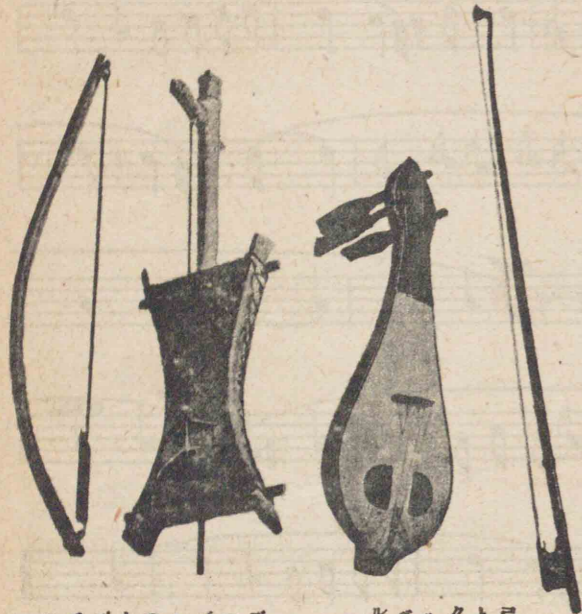
* *pp-p-mf-f-ff-f-mf-p-pp-ppp*
の發想に注意。

[鑑賞] 母なる河ヴォルガ

ヴォルガ地方民謡

44. *Largo.* (♩ = 58)

絃 樂 器 (一)



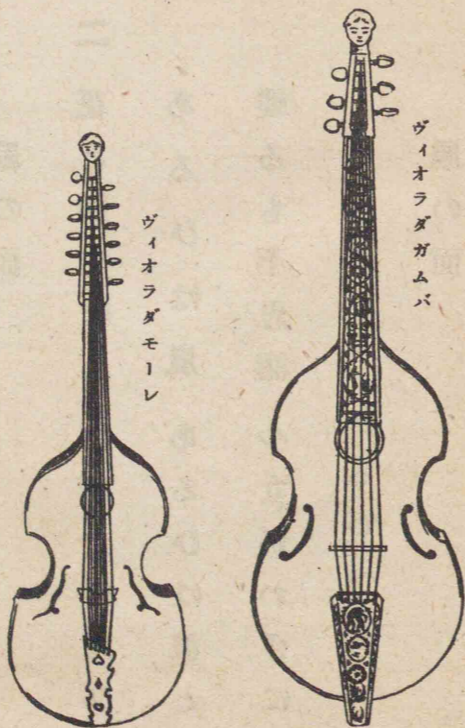
エジプトのレバーク ルベックと弓



ヴィオラダガムバの演奏



ヴィオラダモーレの演奏



ヴィオラダモーレ

ヴィオラダガムバ

絃 樂 器 (二)



ヴァイオリンの鬼才バガニーニ



バリトーン



ヴァイオリン



ヴィオラ



コントラバス



ヴィオロンチェロ

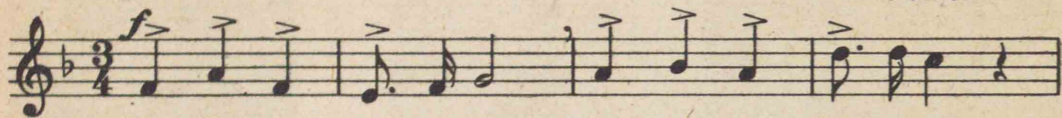
弓奏絃樂器の發達……指で絃をはじく樂器よりもやゝ後れて弓で奏する樂器が現はれた。今日でもその原形と思はれるものがアラビヤ、エジプト等にレバーク又はルベックとして傳へられてゐる。

之がローマ帝國が盛んな頃ヨーロッパに傳はり、種々の形と名とが残されたのであるが、十六七世紀にいたつてヴィオル屬樂器の黄金時代となつた。ヴィオル屬とはヴィオラダガムバ、ヴィオラダモーレ、ヴィオラダプラッチョの類で、これが今日の四種の弓奏絃樂器に改善されたのである。

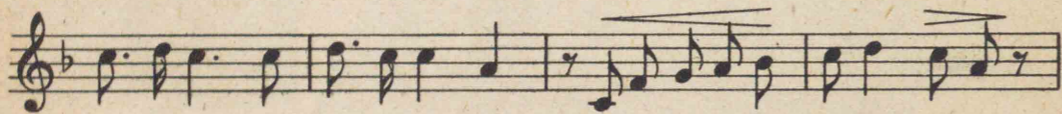
護れ空を

Allegretto. (♩ = 112)

黒澤隆朝 作曲



一 マ モ レ ソ ラ フ マ モ レ マ モ レ
 二 ま も れ そ ら を ま も れ ま も れ
 三 マ モ レ ソ ラ フ マ モ レ マ モ レ



タ フ ト キ コ ノ ソ ラ ア ラ フ シ ノ ツ バ サ ニ
 か が や く こ の つ ち く ろ く も の か げ だ に
 ス ミ ユ ク オ ホ ソ ラ ニ チ リ ン ノ ヒ カ リ ズ



マ カ セ ジ ワ ガ ニ ー ッ ポ ン ノ
 あ ら せ じ わ が に ー ッ ぼ ん の
 ア マ ネ キ ワ ガ ニ ー ッ ポ ン ノ



ソ ラ ノ カ ギ リ マ モ レ マ モ レ
 そ ら の か き り ま も れ ま も れ
 ソ ラ ノ カ ギ リ マ モ レ マ モ レ



カ タ ク マ モ レ ヤ
 し も て ま も れ や
 キ ヨ ク マ モ レ ヤ

[参考曲]

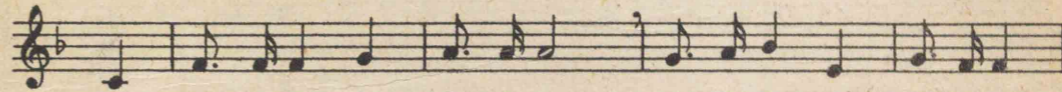
飛行機

桑田つねし作歌
ドイツ民謡

Allegretto. (♩ = 108)



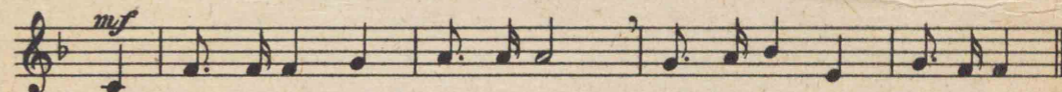
一 ハ ル カ ノ ミ ソ ラ ニ ト リ カ ト ミ エ シ
 二 さ ん せ ン か う わ ん た だ だ の こ と く
 三 ナ キ ノ ニ ム レ ト プ ア キ ッ ノ ゴ ト ク



ク モ ン マ ノ ヒ カ ウ キ マ タ タ ク ヒ マ ニ
 が ん テ ナ キ ミ ろ が る な が め め お し しろ
 ハ テ ナ キ ミ ソ ラ ニ ナ ト が ベ ヨ ヒ カ ウ キ



バ ク オ ン ハ ゲ シ ク ズ ジ ヲ ヲ ヲ ギ リ
 む げ ン の さ か ひ に と び ゆ く こ こ ち や
 ミ ク ニ ノ サ カ エ ヲ セ カ イ ニ シ メ シ テ



ヤ ガ テ ハ キ エ ユ ク ク モ マ ノ ヒ ビ キ
 ば ぐ ん り の ー う な も も た と と び に
 ト ド ロ ク パ ク オ ン テ ン チ ニ ミ テ ヨ

護れ空を
上田壽四郎

一 護れ 空を 護れ 護れ
 たふとき此の空 荒鷺の翼に委せじ
 わが日本の空のかぎり
 護れ 護れ 堅く 護れや

二 護れ 空を 護れ 護れ
 輝く此の土黒雲の影だにあらせじ
 わが日本の空のかぎり
 護れ 護れ 死もて 護れや

三 護れ 空を 護れ 護れ
 澄みゆく大空 日輪の光ぞ 浴き
 わが日本の空のかぎり
 護れ 護れ 浄く 護れや

早春

Moderato. (♩ = 88)

ドイツ民謡

dolce *pp* *pp*

dolce

一フ ユ ニコ モー ル カー タ ヤ マ ザー ト ア
 二ゆ き の し た に も の る を く さ を
 三カ ゼ ハ サ ム ク ユー キ ハ チ レー ド ト

dolce

サ ノ ケ ムー リ ヒー ク ク ナ ビー キ トー リ ノ ネ ノー
 が は の きー し あー を む ね ぜー り はー る く と よー
 シ フ リ ニー シ ニー ハ ノ ウ メー ノ ツー ボ ミ マ バー

dim. *p* *poco*

ドーカニ ムー ラ ザ トーワ ターリー テ イー マ コー
 ぶーこゑ あー め つ ちー にー みーちー て いー ま こー
 ラーニモ イー ロ ツ キー ヨー ソーヒー テ イー マ コー

dim. *p* *poco*

cresc. *più f*

ソ ハー ル ハ キ ツー レ
 ソ はー る は き つー れ
 ソ ハー ル ハ キ ツー レ

cresc. *più f* *f*

早春

黒澤隆朝

一 冬にこもる 片山里
 朝の煙 低くなびき
 鶏の音のどかに 村里わたりて
 今こそ 春は来つれ

二 雪の下に 萌ゆる小草
 小川の岸 青む根芹
 春來と呼ぶ聲 天地に充ちて
 今こそ 春は来つれ

三 風は寒く 雪は散れど
 年ふりにし 庭の梅の
 蕾まばらにも 色づき粧ひて
 今こそ 春は来つれ

十二. 變ホ長調の練習

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧
do re mi fa sol la si do
だ れ み ぱ そ れ し だ

主和音 四度の和音
I IV

和音の進行
I VI V I

*音階練習

46.

47. *Moderato.* [鑑賞] 歌劇「ローエングリン」中の結婚行進曲より Wagner.

48. *Moderato mosso.* [鑑賞] 歌劇「ルチア」中の祝婚行進曲より Donizetti.
fp

49. [鑑賞] 歌劇「トロヴァトーレ」中の兵士の合唱より G. Verdi.
Allegro moderato e maestoso.

mf

50. [鑑賞] 名残の薔薇 Thomas Moore.
Andante. *p*

rit. *p* *a tempo*

p

山村の春

Andantino. (♩ = 104) (二部輪唱)

作曲者不詳

一.アサーノケブ リ タチーナビ キ
 二.つれだちの く くだかけの
 一.アサーノケブ リ タチーナビ
 二.つれだちの く くだかけ
 ヤマーベノサ トノ ハルノイーロ
 さかさにし ろく うつるかけ
 キ ヤマーベノサ トノ ハルノイー
 の さかさにし ろく うつるかけ
 ソヨソヨソ ヨ フクカゼニ ウメノカー
 さらさらさ ら ゆくみづの しらべた
 ロ ソヨソヨソ ヨ フクカゼニ
 げ さらさらさ ら ゆくみづの
 ヲ リ ツターヘクル クル
 の し はるのか は か は
 ウメノカー ヲ リ ツターヘクル
 しらべたの し はるのか は

[参考曲] 花月

小學唱歌集 編者編曲

♩ = 60. *mf*

一.ハ ナヲ ミ ル ト キハ ココロ イト タノ
 二.つきを み る と き は こころ し づ かな
 三.ヨ キヲ ミ テ ウツ リ アクラ ミ テ サケ
 シ ココロ タ ノ シキハ ハ ナノ メグミ ナ リ
 り こころ し づ けき は つきの めぐみ な り
 ヲ アケニ マ ジ ハレ バ アカク ナルト イ フ
cresc.

山村の春

朝のけぶり 立ちなびき

山邊の里の 春の色

そよそよ

吹く風に

梅のかをり

つたへくる

鶏くわがせの

倒たかに白く 映る影

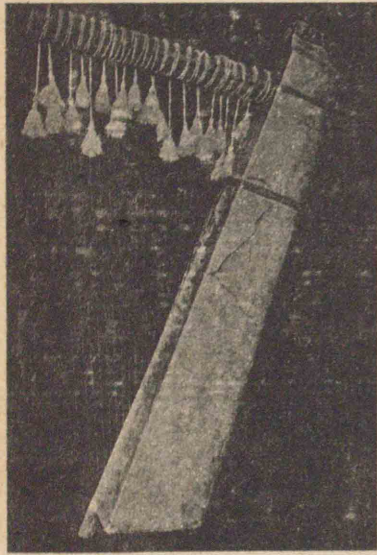
さらさら

ゆく水の

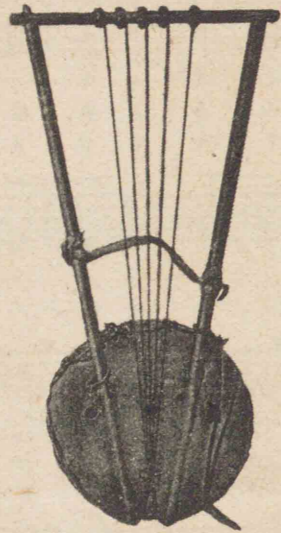
しらべたのし

春の川

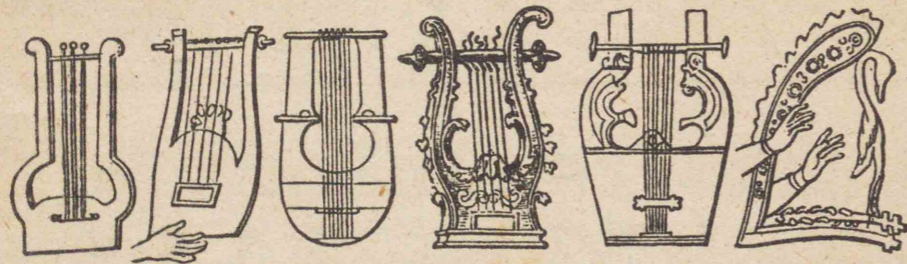
桑田つねし



古代エジプトハープ



アラビヤ・エチオピア等に傳はるキッサール



ギリシャ時代のリラの種類



(リュート・シタールの合奏)

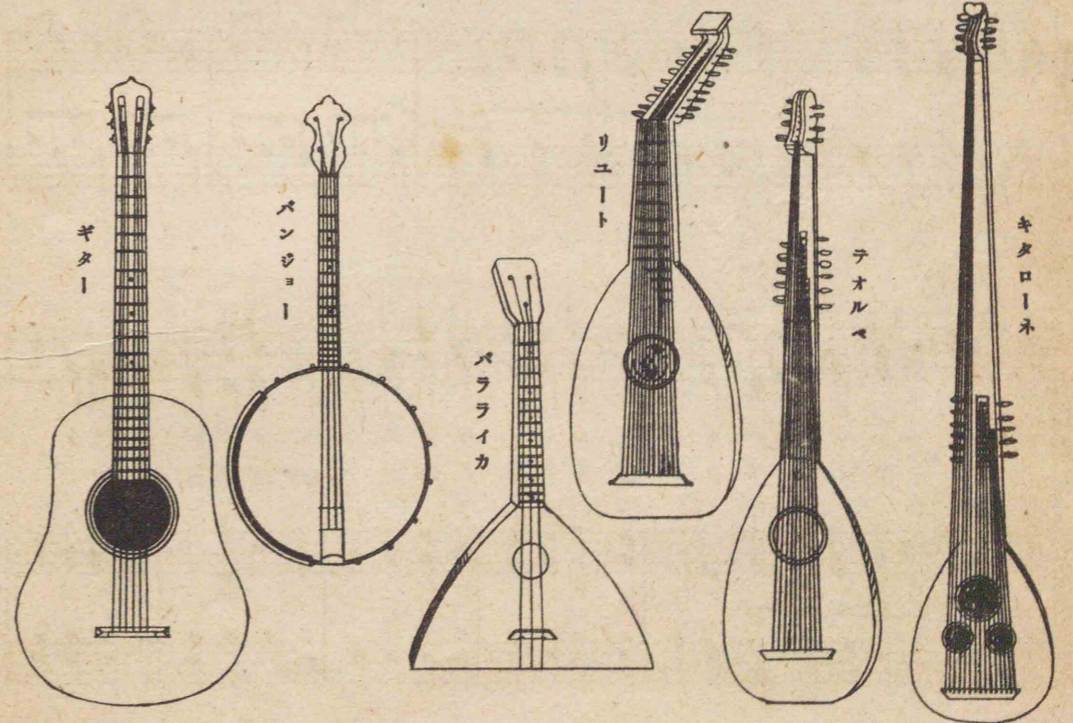
絃樂器の種類……絃樂器を大別すればハープ系、ダルシマー系、リュート系、ヴィオール系の四種類となる。リュートは十六世紀から十八世紀にかけて流行した樂器で、テオルベ、キタローネ等の低音樂器も作られ、優雅なる種々の形を生んだ。今日ではピアノに壓倒せられ、この系統のものではマンドリン、ギター等を残してゐるに過ぎない。



テオルベの演奏



ハープの演奏



ギター

マンジュー

バラライカ

リュート

テオルベ

キタローネ

鶯の歌

Moderato. (♩ = 116)

J. Hullah.

mp

ニ コ ホレル ナミダ イツシカト ケテ タニノト
ニ つ ゆ の し づく に う た ぐ ち し め し は な の こ

ケキヨ ケキヨ ケキヨ ケキヨ
けきよ けきよ けきよ けきよ

ウ グ ヒ ス サ ソー へ ホー ホー ホー ホー
き け よ と ば か り ほー ほー ほー ほー

フ カ タ モ ル ル ヤ ヒ ビ キ ホー ホー ホー ホー
ず 茲 に も ら す や ひ び き ほー ほー ほー ほー

モ ル ル ヤ ヒ ビ キ ノ キ バ ノ ウ メ ハ ホ コ ロ ビ ソ メ ヌ
も ら す や ひ び き は お と も か ろ く は な ま を め け て

mp

コ チ フ ク カ ゼ ヨ ニ ホ ヒ ラ オ コ シ タ ニ ノ ト タ タ キ
ち る を も し ら で う た ふ か ほ つ え く も ふ む と り も

ケキヨ ケキヨ ケキヨ ケキヨ
けきよ けきよ けきよ けきよ

ウ グ ヒ ス サ ソー へ ホー ホー ホー ホー
き け よ と ば か り ほー ほー ほー ほー

鶯の歌 前田純孝

一 こほれる涙 いつしかとけて
谷の戸ふかく もるゝやひゞき
ホケキヨ ホケキヨ ホケキヨ ホケキヨ
もるゝやひゞき


軒端の梅は ほころび初めぬ
東風ふく風よ にほひをおこし
谷の戸たゞき 鶯さそへ
ホケキヨ ホケキヨ ホケキヨ ホケキヨ
鶯さそへ


二 つゆのしづくに うたぐちしめし
花の梢に もらすやひゞき
ホケキヨ ホケキヨ ホケキヨ ホケキヨ
もらすやひゞき


羽音もかろく 花まをぬけて
散るをもしらで 歌ふかほつえ
雲ふむ鳥も 聞けよとばかり
ホケキヨ ホケキヨ ホケキヨ ホケキヨ
聞けよとばかり

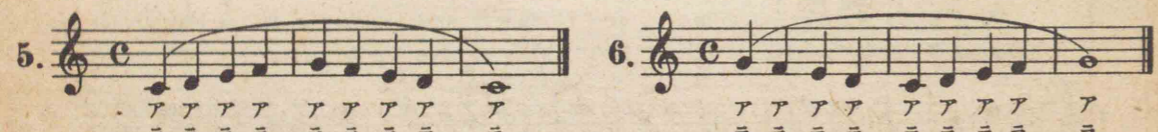
【附録】一


發聲・音階練習

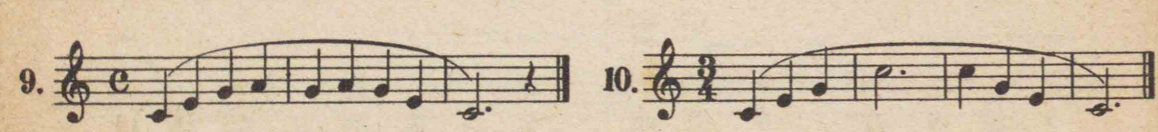
1. 

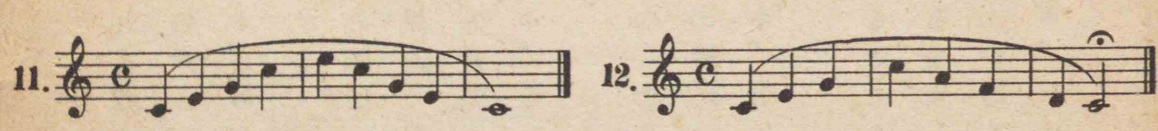
2. 

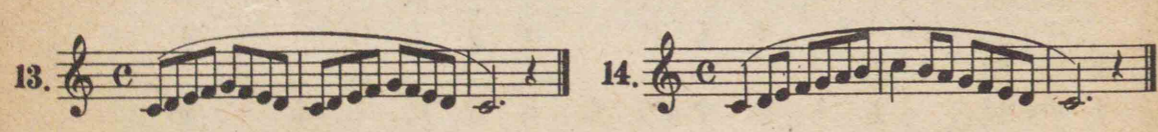
3. 


4. 


5. 


6. 


7. 

8. 

9. 

10. 

11. 

12. 

13.

14.

15.

16.


17.

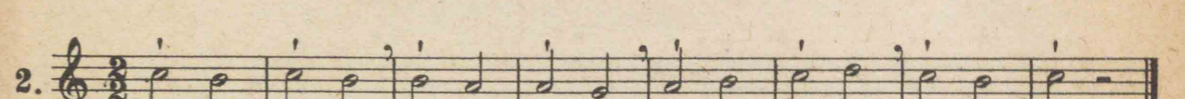
【附録】二


音程練習

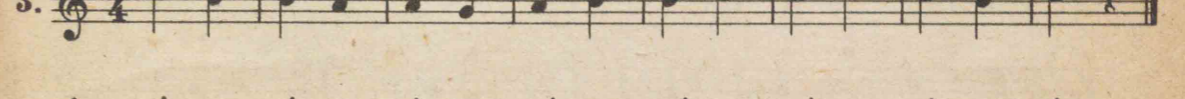
[コールユーブンゲン 抜萃]

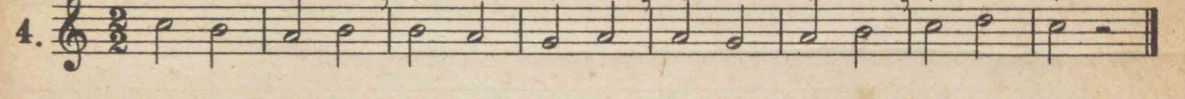
二度音程


1. 


2. 

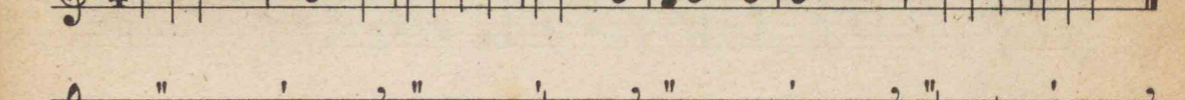
3. 


4. 

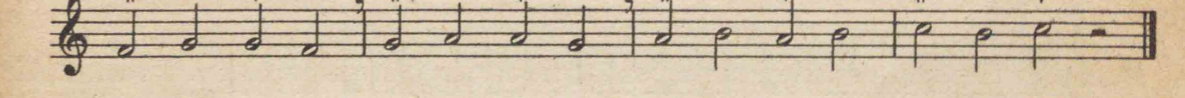
5. 

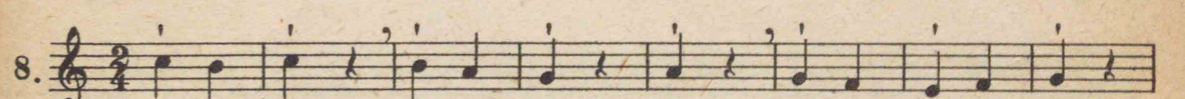
6. 


7. 

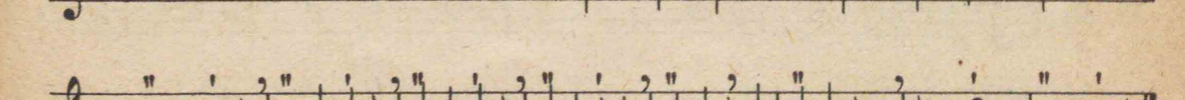
8. 


9. 


10. 


11. 

12. 

13. 

14. 

15. 

16. 

17.

10. Musical notation for exercise 10, first system. It consists of two staves in 2/4 time. The first staff contains a sequence of eighth notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The second staff contains a sequence of eighth notes: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4.

11. Musical notation for exercise 11, first system. It consists of three staves in common time. The first staff contains a sequence of quarter notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The second staff contains a sequence of quarter notes: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The third staff contains a sequence of quarter notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4.

12. Musical notation for exercise 12, first system. It consists of three staves in common time. The first staff contains a sequence of quarter notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The second staff contains a sequence of quarter notes: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The third staff contains a sequence of quarter notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4.

13. Musical notation for exercise 13, first system. It consists of one staff in 3/4 time. The notes are: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4.

14. Musical notation for exercise 14, first system. It consists of two staves in 3/4 time. The first staff contains a sequence of quarter notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The second staff contains a sequence of quarter notes: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4.

15. Musical notation for exercise 15, first system. It consists of two staves in 3/4 time. The first staff contains a sequence of quarter notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The second staff contains a sequence of quarter notes: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4.

三度音程

16. Musical notation for exercise 16, first system. It consists of three staves in common time. The first staff contains a sequence of quarter notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The second staff contains a sequence of quarter notes: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The third staff contains a sequence of quarter notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4.

17. Musical notation for exercise 17, first system. It consists of four staves in 3/4 time. The first staff contains a sequence of quarter notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The second staff contains a sequence of quarter notes: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The third staff contains a sequence of quarter notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The fourth staff contains a sequence of quarter notes: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4.

18. Musical notation for exercise 18, first system. It consists of four staves in common time. The first staff contains a sequence of quarter notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The second staff contains a sequence of quarter notes: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The third staff contains a sequence of quarter notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The fourth staff contains a sequence of quarter notes: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4.

歌曲總索引(全五編)(五十音順)

明治天皇御製「よもぎの海」(單音) [1] 巻頭
明治天皇御製「國を思ふ」(單音) [2]
明治天皇御製「なよ竹は」(二部) [3]
明治天皇御製「あさみどり」(單音) [4]
昭憲皇太后御歌「大宮の」(單音) [5]

[ア]

あけぼの (單音) (ポルト・アンスキー作) [1] 13
愛國の歌 (單音) (ツェルディン作) [1] 26
朝霧 (輪唱) (ツェンパー作) [1] 50
アロハ・オエ (單音) (ハワイ民謡) [1] 58
Alphabet (三部) (モーツァルト作) [3] 22
秋草 (二部) (小學唱歌集) [3] 69

[ウ・ヴ]

ヴォルガの舟歌 (單音) (ヴォルガ地方民謡) [1] 61
鶯の歌 (二部) (フラー作) [1] 76
海邊にて (單音) (シューベルト作) [5] 16

[エ・エ]

A B C (單音) (モーツァルト作) [1] 14
英國國歌 (單音) (カレー作) [1] 24
遠足 (單音) (ドイツ民謡) [1] 30

[オ・ワ]

少女の夢 (單音) (ショパン作) [3] 58
小琴のしらべ (單音) (シューベルト作) [4] 28

[カ・クワ]

花月 (單音) (小學唱歌集) [1] 73
郭公ワルツ (二部) (ヨハンソン作) [2] 8
海國日本 (二部) (キューケン作) [2] 78
海邊の眺望 (單音) (ツェルディン作) [3] 36
花鳥 (單音) (ツェルナー作) [4] 7
かどやくさつき (四部) (ブラームス作) [4] 10
風にならばや (二部) (メンデルスゾーン作) [5] 9

[キ]

君が代 (單音) (林廣守作) [1] 1

[ク]

暮の鐘 (二部) (ボヘミア民謡) [2] 76

[コ・クワウ]

故郷の追憶 (單音) (ベリイ作) [1] 38
樹蔭の泉 (二部) (ドイツ曲) [2] 56
胡蝶 (單音) (シューマン作) [3] 10
心靜かに (單音) (モーツァルト作) [3] 28
聲 (輪唱) (シュルツェ作) [3] 30

皇軍凱旋 (三部) (オッフエンバッハ作) [3] 78
樹蔭 (單音) (ルービンシュタイン作) [4] 60

[サ]

五月の野邊 (單音) (ヘルストン作) [1] 16
さらばハワイ (單音) (ハワイ民謡) [1] 58
山村の春 (輪唱) (作曲者不詳) [1] 72
サンタ・ルチア (二部) (ナポリ民謡) [2] 42
才女 (二部) (スコットランド民謡) [2] 83

[シ]

舟遊 (單音) (ハミルトン作) [1] 36
霜の朝 (二部) (ウィルヘルム作) [1] 52
白百合 (單音) (ブラームス作) [2] 32
城山の秋 (二部) (フォスター作) [2] 60
出陣の歌 (單音) (シューマン作) [2] 62
春曉 (三部) (ライヒャルト作) [4] 1
昭和の日本 (三部) (ウィリアムス作) [4] 46

[ス]

須磨の秋 (單音) (モーツァルト作) [1] 47
すみれ (二部) (ヴォルガ地方民謡) [2] 5
スキーの歌 (二部) (黒澤隆朝作) [2] 68

[セ]

雪戦 (單音) (ドイツ民謡) [1] 56
青春の歌 (單音) (メンデルスゾーン作) [4] 14
静夜 (三部) (クルシュマン作) [5] 25

[ソ・サウ]

早春 (單音) (ドイツ民謡) [1] 68
早春賦 (單音) (中田 章作) [3] 76
そとろあるき (三部) (レーザ作) [4] 56

[タ]

楽しき農夫 (單音) (シューマン作) [2] 25
楽しき春 (單音) (ベートーヴェン作) [3] 2
旅の明暮 (二部) (ルービンシュタイン作) [4] 62

[チ]

探梅 (三部) (作曲者不詳) [5] 70

[チ]

地上の歡喜 (二部) (ベートーヴェン作) [3] 4

[ツ]

散り行く花 (三部) (作曲者不詳) [3] 24
追憶 (單音) (アメリカ曲) [1] 25
訪ぐ少女 (單音) (ユングスト作) [3] 68
辻音楽師 (單音) (シューベルト作) [5] 56

[チ]

天邊無窮 (二部) (ベートーヴェン作) [3] 8

[ト]

時計 (輪唱) (ドイツ曲) [1] 50
遠寺の鐘 (單音) (ジルヘル作) [3] 52

[ナ]

なみ風 (單音) (小學唱歌集) [1] 12
夏を楽しむ (二部) (ロッシュ作) [2] 40
懐しの我家 (三部) (ビショップ作) [5] 12

[ニ]

日章旗 (單音) (シュワルツ作) [1] 20
日本帝國 (二部) (ブローム作) [2] 22

[ネ]

眠れ英霊 (四部) (シューベルト) [3] 56

[ノ]

野寺の鐘 (輪唱) (イギリス曲) [1] 51
野薔薇 (單音) (シューベルト作) [4] 6

[ハ]

春霞 (單音) (ハフトン作) [1] 10
春の曙 (單音) (ウエスレイ作) [1] 11
春の夜 (單音) (ハリソン作) [2] 4
母のおもひ (單音) (小學唱歌集) [2] 17
春の山野 (單音) (ブラッドハーロー作) [2] 20
箱根路 (二部) (ヘッラー作) [2] 50
鳩と泉 (輪唱) (ハウプトマン作) [2] 70
花 (二部) (關 康太郎作) [2] 80
春の歌 (三部) (メンデルスゾーン作) [3] 18

玻璃の清水 (單音) (ドイツ曲) [3] 26
母と子 (二部) (ウイーン調) [5] 22
羽衣の舞 (四部) (ウェーバー作) [5] 48
春の祝歌 (四部) (ズーデルマン作) [5] 60

[ヒ]

飛行機 (單音) (ドイツ民謡) [1] 67
雲雀 (二部) (作曲者不詳) [2] 3
雲雀の歌 (四部) (メンデルスゾーン作) [5] 1

[フ]

故郷さらば (單音) (ドイツ民謡) [1] 21
舊都の月 (單音) (ヘイズ作) [1] 28
福壽草 (輪唱) (ドイツ曲) [1] 49
冬の旅 (單音) (クラフ作) [1] 53
ブラームスの子守歌 (單音) (ブラームス作) [1] 28
船路 (三部) (マツデンギイ作) [3] 62
款乃の調 (二部) (オッフエンバッハ作) [4] 40
ふるさとの夢 (三部) (ドヴォルジャック作) [4] 66

富嶽の頌 (三・四部) (ストップツ作) [4] 74
古池の蛙 (四部) (ドイツ民謡) [5] 34

[ホ]

牧人の歌 (二部) (グラーガー作) [2] 36
ボートの唄 (二部) (アラール作) [2] 54
菩提樹 (三部) (シューベルト作) [4] 33
灯影 (三部) (作曲者不詳) [4] 34
亡友を懐ふ (單音) (アッシュ作) [4] 38
牧場の曙 (三部) (ウィルソン作) [5] 40

[マ]

舞扇 (單音) (作曲者不詳) [1] 62
護れ空を (單音) (黒澤隆朝作) [1] 66
籬の白菊 (單音) (アプト作) [4] 54

[ミ]

水に映る影 (二部) (グリソカ作) [2] 18
深山路 (單音) (ドイツ曲) [2] 46
みたにの奥 (單音) (小學唱歌集) [5] 69

[ム]

麥打ちの歌 (單音) (ドイツ民謡) [1] 17
蟲に寄せて (二部) (ライトン作) [2] 58

[モ]

森のひびき (二部) (キューケン作) [4] 22
モーツァルトの子守歌 (單音) (モーツァルト作) [1] 44

[ヤ]

藪のかつこう (二部) (シュミット作) [1] 32
山のうた (二部) (アツツァ作) [3] 46
山うぐひす (三部) (メンデルスゾーン作) [4] 16
山の古寺 (三部) (ブラームス作) [5] 18

[ユ]

雪山のうた (三部) (高木東大作) [3] 70
夢 (三部) (シューマン作) [5] 44

[ヨ]

四つ葉のクローバー (單音) (ロイテル作) [5] 6
夜の曲 (單音) (シューベルト作) [5] 32

[リ・レフ]

獵人の合唱 (三部) (ウェーバー作) [3] 40

[ル]

流浪の民 (三部) (シューマン作) [5] 75

[ロ]

ロオレライ (單音) (ジルヘル作) [2] 45

[ワ]

若草の古戦場 (單音) (スコットランド民謡) [2] 6
若人の歌 (單音) (ブツァルフィールド作) [3] 75
我が太陽 (單音) (ナポリ民謡) [4] 60
我等が精銳 (三部) (ヤロボウスキー作) [4] 78

所載名曲總索引 (全五編) (五十音順)

編 頁	編 頁
【ア】	
アロハ・オエ (Hilulukalani Q.)	(1) 60
アルルの女 (王の行進・フランス民謡) (Bizet)	(1) 63
アンニー・ローリー (少女) (スコットランド民謡)	(2) 83
アンダンテ・カンタービレ (Tchaikowsky)	(3) 51
碧きドナウ河 (J. Strauss)	(3) 65
アム・メーア (海邊にて) (Schubert)	(5) 16
アーゼの死 (Grieg)	(5) 38
アニトラの踊 (Grieg)	(5) 39
アヴェ・マリア (Gounod)	(5) 59
アヴェ・マリア (Schubert)	(5) 59
愛の夢 (Liszt)	(5) 68
【イ】	
イ長調のワルツ (Brahms)	(5) 20
新りの曲 (Max Bruch)	(5) 46
【ウ・ヴ】	
ヴォルガの舟歌 (ロシア民謡)	(1) 61
ウィリアム・テルの牧歌調 (Rossini)	(3) 50
ウィリアム・テルの行進曲 (Rossini)	(3) 50
ヴァイオリン協奏曲 (Mendelssohn)	(4) 20
歌の翼に (Mendelssohn)	(4) 20
維納狂想曲 (母と子・ウィーン調) (Kreisler)	(5) 22
【エ】	
英國国歌 (Carey)	(1) 24
エレジイ (Massenet)	(5) 15
エルケニツヒ (Schubert)	(5) 32
【オ・ヲ】	
王の行進 (フランス民謡)	(1) 63
オールド・ブラック・ジョー (城山の歌) (Foster)	(2) 60
少女の願ひ (少女の夢) (Chopin)	(3) 58
音楽に寄せて (小卒のしるべ) (Schubert)	(4) 50
オー・ソレ・ミオ (我が太陽) (ナポリ民謡)	(5) 28
思ひ出 (Drdla)	(5) 47
【カ】	
郭公 (オーストリア民謡)	(1) 11
玩具交響曲 (Haydn)	(1) 19
歌劇「オルフェオ」のアンダンテ (Gluck)	(1) 21
歌劇「魔弾の射手」序曲より (Weber)	(1) 42
歌劇「魔弾の射手」よりの歌調 (Weber)	(1) 42
歌劇「フィガロの結婚」より (Mozart)	(1) 46
歌劇「ローエングリン」中の結婚行進曲 (Wagner)	(1) 70
歌劇「ルチア」中の祝婚行進曲 (Donizetti)	(1) 70
歌劇「トロヴァトーレ」中の兵士の合唱より (Verdi)	(1) 70
郭公ワルツ (Jonasson)	(2) 8
歌劇「カルメン」闘牛士の歌 (Bizet)	(2) 21
歌劇「カルメン」カステネットの歌 (Bizet)	(2) 21
歌劇「オペラ」 (Weber)	(2) 39
歌劇「魔笛」より「心静かに」 (Mozart)	(3) 28
歌劇「魔弾の射手」花の冠合唱 (Weber)	(3) 44
ガヴォット (Popper)	(3) 55
ガヴォット (Gossec)	(3) 55
カヴァチーナ (Raff)	(4) 27
歌劇「蝶々夫人」中の舟歌 (Puccini)	(4) 44
歌劇「蝶々夫人」中或る晴れた日に (Puccini)	(4) 45
かへれソレントへ (Curtis)	(4) 53
カロ・ミオ・ベン (ナポリ民謡) (Giordani)	(5) 31
歌劇「ワグネル」和蘭人中の紡ぎ歌 (Wagner)	(5) 73
【キ】	
歌劇「タンホイザー」中の大行進合唱曲 (Wagner)	(5) 73
歌劇「タンホイザー」運搬の合唱 (Wagner)	(5) 73
【ク】	
軍隊行進曲 (Schumann)	(2) 65
クロイツェルソナタ (Beethoven)	(3) 21
軍隊行進曲 (Schubert)	(4) 32
グーノーのセレナーデ (Gounod)	(4) 73
【ケ】	
ケンタッキーの家 (Foster)	(2) 61
月光の曲 (Beethoven)	(5) 24
G線上のアリア (Bach)	(5) 54
【コ】	
故郷の夢 (アメリカ曲)	(1) 39
子守歌 (Mozart)	(1) 44
子守歌 (Brahms)	(2) 28
子守歌 (Hauser)	(3) 54
子守歌 (Iijinsky)	(3) 54
ゴセックのガヴォット (Gossec)	(3) 55
コール・ニドライ (Max Bruch)	(5) 46
【サ】	
サープライズ (驚愕交響曲) (Haydn)	(1) 19
サンタ・ルチア (ナポリ民謡)	(2) 42
サンカンティエヌ (Gabriel-Marie)	(2) 75
サドコのインドの歌 (Rimsky-Korsakow)	(5) 5
【シ】	
主人は冷たい土の中に (Foster)	(2) 61
「新世界」よりのラルゴ (ふるさとの夢) (Dvořák)	(4) 66
死と少女 (Schubert)	(5) 16
シューベルトのアヴェ・マリア (Schubert)	(5) 59
運搬の合唱 (Wagner)	(5) 73
【ス】	
ステンカ・ラーズィン (ナカレ) (ロシア民謡)	(2) 5
スコットランドの釣鐘草 (若草の古戦場) (Scottish Song)	(2) 6
スザンナ (Foster)	(2) 61
スプリングソング (Mendelssohn)	(3) 11
スケーターワルツ (Waldteufel)	(3) 74
スーヴニール (Drdla)	(5) 47
【セ】	
聖ヨハネスの讃歌	(1) 7
聖夜 (Grüber)	(2) 44
星條旗の歌 (Smith)	(3) 35
セレナーデ (Toselli)	(4) 53
セレナーデ (Drigo)	(4) 72
セレナーデ (Gounod)	(4) 73
セレナーデ (Tosti)	(4) 73
セレナーデ (Schubert)	(5) 32
【ソ】	
双頭の鷲の下に (F. Wagner)	(2) 66
ソルヴェージュの歌 (Grieg)	(5) 39

【タ】	
楽しき農夫 (Schumann)	(2) 25
タウベルトの子守歌 (Taubert)	(2) 44
第九交響曲 (地上の歓喜) (Beethoven)	(3) 4
【ツ】	
ツイゴイネルワイゼン (Sarasate)	(2) 75
紡ぎ歌 (Wagner)	(5) 73
ツイゴイネルレーベン (流涙の民) (Schumann)	(5) 75
【テ】	
天使 (Rubinstein)	(4) 65
【ト】	
トイ・シンフォニー (玩具交響曲) (Haydn)	(1) 19
ドイツ国歌 (Haydn)	(1) 19
闘牛士の歌 (Bizet)	(2) 21
トロイメライ (Schumann)	(2) 65
ト調のミスエット (Beethoven)	(3) 14
トルコ行進曲 (Beethoven)	(3) 15
トルコ行進曲 (Mozart)	(3) 15
ドナウ河の漣 (Ivanovici)	(3) 65
トロイカ (Tchaikowsky)	(3) 74
トゼリのセレナーデ (Toselli)	(1) 53
ドリゴのセレナーデ (Drigo)	(4) 72
トスティのセレナーデ (Tosti)	(4) 73
【ナ】	
名残の薔薇 (Th. Moore)	(1) 71
ナチスの歌旗を掲げて	(2) 66
ナポリ民謡 (Curtis)	(4) 53
【ニ】	
日曜日 (白百合) (Brahms)	(2) 32
ニーナの死 (Pergolesi)	(5) 31
【ネ】	
眠りの精 (Brahms)	(2) 31
【ノ】	
ノクターン (Chopin)	(3) 59
野薔薇 (Schubert)	(4) 6
野薔薇 (花鳥) (Werner)	(4) 7
【ハ】	
春のほろろみ (Depret)	(1) 14
ハワイの舟歌 (ハワイ民謡)	(1) 60
母なる河ヴォルガ (ロシア民謡)	(1) 61
波上にて (Rosas)	(2) 12
旗を掲げて (ナチスの歌)	(2) 66
春の歌 (Mendelssohn)	(3) 11
ハンターズ・コーラス (獵人の合唱) (Weber)	(3) 40
春の囁き (Sinding)	(5) 4
春に寄す (Grieg)	(5) 4
春の夢 (J. Strauss)	(5) 4
白鳥 (Saint-Saëns)	(5) 15
ハレルヤ・コーラス (Händel)	(5) 55
【ヒ】	
「ピアノソナタ」の主題 (Mozart)	(2) 52
悲愴交響曲 (Tchaikowsky)	(3) 51
悲歌 (Massenet)	(5) 15
悲哀 (Saint-Saëns)	(5) 15
【フ】	
ブラームスの子守歌 (Brahms)	(2) 28
ファシストの歌	(2) 67
【ヘ】	
フランス国歌	(3) 34
舞踏への勧誘 (Weber)	(3) 45
【ホ】	
ホッパーのガヴォット (Popper)	(3) 55
ホロネズ (Chopin)	(3) 42
ホフマンの舟歌 (歌乃の調) (Offenbach)	(4) 40
ホーム・スキート・ホーム (懐しの我家) (Bishop)	(5) 12
「牧神の午後」前奏曲 (Debussy)	(5) 74
【マ】	
マドリガル (Simonetti)	(1) 31
満洲国歌	(2) 67
マルセーユの歌 (フランス国歌)	(3) 34
マヅルカ (Chopin)	(3) 61
魔王 (Schubert)	(4) 32
マリアの子守歌 (Max Reger)	(5) 46
【ミ】	
ミスエット (Beethoven)	(3) 14
ミスエット (Paderewski)	(4) 26
ミリタリーマーチ (Schubert)	(4) 32
未完成交響曲の主題 (Schubert)	(4) 32
【ム】	
無言歌 (Mendelssohn)	(3) 11
【メ】	
メリー・ウィードー・ワルツ (Lehar)	(2) 7
【モ】	
モルダウ (Smetana)	(3) 68
【ヤ】	
夜想曲 (Chopin)	(3) 61
【ユ】	
ユモレスク (Dvořák)	(4) 77
【ヨ】	
搖籃の歌 (Hauser)	(3) 54
搖籃の歌 (Iijinsky)	(3) 54
四つ葉のクローバー (Reutel)	(5) 6
【ラ】	
ラスト・ローズ・オブ・サンマー (名残の薔薇) (Th. Moore)	(1) 71
ラルゴ (ふるさとの夢) (Dvořák)	(4) 66
ラルゴ (Händel)	(5) 55
ライエルマン (辻音楽師) (Schubert)	(5) 56
【ル】	
ルール (Bach)	(5) 51
【ロ】	
ローレライ (Silcher)	(2) 45
老犬トレイ (Foster)	(2) 61
【ワ】	
ワルツ調 (ドイツ曲)	(1) 24
ワルツ調 (Lehar)	(2) 7
ワルツ「波上にて」 (Rosas)	(2) 12
ワルツ「金と銀」 (Lehar)	(2) 12
ワルツ「ドナウ河の漣」 (Ivanovici)	(3) 66
ワルツ「碧きドナウ河」 (J. Strauss)	(3) 67
ワルツ「スケーター」 (Waldteufel)	(3) 74
香が母の教へ給ひし歌 (Dvořák)	(4) 70
ワルツ「イ長調」 (Brahms)	(5) 20

藤井巖

広島大学図書

0130449398



教科

42

013